

トムス
ハイパー
コンプレッサーキット
ランドクルーザー200 (UZJ200)
用

13600-TUJ20

取り付け／取り扱い説明書

- ◆ お取り付け及びご使用前に必ず本書をよくお読みください。
- ◆ 本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書も譲渡してください
- ◆ 販売店殿——本商品お渡しの際、保証書およびユーザー登録ハガキに販売店印の押印、装着時走行距離および購入日を記入してください。押印および記入がない場合は保証対象外となりますのでよろしくお願ひします
- ◆ ユーザー登録ハガキは必ずご返送ください。ご返送ない場合は保証対象外となる場合があります

目次

【1】	事前に準備いただくもの	1
【2】	はじめに	2
【3】	適応車種	2
【4】	ご使用時の注意事項	2
【5】	エンジンECUについて	2
【6】	保証について	3
【7】	構成部品表	4
【8】	構成部品図	6
【9】	取り付け	8

【1】 事前に準備いただくもの

作業を開始する前に以下のものを事前に準備してください。

注文は全国のトヨタ部品共販となります。

部品（トヨタ純正）

ウォーターバイパスジョイント	1 6 3 5 5 - 5 0 0 7 0	1 個
ウォーターバイパスジョイントガスケット	1 6 3 4 1 - 5 0 0 2 0	2 個
ウォーターインレットリング	9 6 7 6 1 - 3 5 0 3 5	1 個
ウォーターバイパスパイプリング	9 6 7 6 1 - 2 4 0 1 9	1 個
インテークマニホールドツェーヘッドガスケット	1 7 1 7 1 - 5 0 0 3 0	2 個
パルセーションダンパーホースガスケット	9 0 4 3 0 - 1 2 0 2 6	1 個
フエルポンプホースガスケット	2 3 2 3 2 - 4 1 0 8 1	1 個
スロットルボディガスケット	2 2 2 7 1 - 5 0 0 5 0	1 個
インジェクターリング	9 0 3 0 1 - 0 7 0 3 7	8 個
インジェクターインシュレーター	2 3 2 9 1 - 4 1 0 1 0	8 個
パイプフエルデリバリインレットガスケット	9 0 4 3 0 - 1 4 0 0 8	4 個

【2】 はじめに

このたびは、トムスハイパーコンプレッサーキット（ランドクルーザー200（UZJ200W用）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございます。本取り付け説明書は各車両の脱着分解図を掲載してあります。更に詳しい内容については、各車両の修理書を参照して下さい。

【3】 適応車種

本製品は以下の車種に対応しています。（H20年10月現在）

トヨタ ランドクルーザー200（UZJ200W） H19年（2007）9月～

【4】 ご使用時の注意事項

以下の注意事項を守らない場合、エンジンの破損に伴う事故となる場合がありますので十分ご注意ください

1. 本製品を装着すると、エンジンの燃焼効率が改善され、エンジンの性能が向上いたします。ブレーキの性能を確認し、十分な制動力を確保して走行してください。
2. エンジンの過回転（回転計の「レッドゾーン」以上の使用）はエンジン破損につながります
3. 装着後、エンジンチェックランプが点灯したり、エンジンに著しい異常（振動、異音、黒煙の排出等）を感じた場合はただちに使用を中止し販売店等に連絡してください
4. 取り付け後、数キロ走行した後に、ボルトの緩みやベルトの干渉、ガソリン、冷却水の漏れ等をチェックしてください。
5. **ガソリンは必ず「無鉛ハイオク」をご使用ください。レギュラーガソリンや粗悪ガソリンを使用するとノッキングをおこしエンジンが破損する場合があります。**
6. エンジンオイル・オートマチックトランスミッションオイルは通常よりこまめに交換してください
推奨交換時期 エンジンオイル5000KmごとATFオイル20,000Kmごと
7. Vベルトは亀裂、ゆるみ、部品との干渉などをこまめに点検してください。

【5】 エンジンECUについて

1. 車両に装着されている純正ECUに下記の送付用紙をコピー添付して弊社に発送してください。その際、純正ECUに装着されている**取り付けブラケットを必ず外し**お客様にて管理してください。
2. 純正ECUをTEC IIに変更の際、弊社に純正ECU到着後、1週間程度車両が動かさなくなる旨、ご了承下さい。
3. お客様より弊社に送付される際の運賃はお客様にてご負担ください。

■送付先 〒158-0082 東京都世田谷区等々力6-13-10 ㈱トムス 営業部宛
TEL03-3704-6191/FAX03-3704-9486

TOM'S T.E.C. II 送付用紙 for HYPER COMPRESSOR KIT			
お客様お名前		TEL	直送先 (○印必ず記入)
住所（お客様用）			
ご担当販売店名 ご担当者		TEL FAX	
住所			
共販・代理店 ご担当者		TEL FAX	
住所			

【6】 保証について

本製品について製造上の不具合が発生した場合、下記の期間と条件に従ってこれを無償修理（保証修理）いたします。保証修理は部品の交換または補修により行います（製品の返品等はお受けいたしません）。また、取り外した不具合部品は（株）トムスの所有となります。

[1] 保証期間

➤ 保証修理の対象期間は以下の通りです

製品お買いあげ後1年間。但し期間内であっても装着後走行距離20,000Kmまで

[2] 保証の受け方

保証を受ける場合は、販売店に車両を持ち込み、保証書を提示の上保証修理をお申し付けください。原則として不具合部位を取り外し、（株）トムス宛ご返却いただき、調査後トムスにて現品を修理もしくは交換しご返却いたします。

[3] 保証をしない事項

➤ 上記保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外となります

- 1, 本書に添付されている保証書に販売店押印、装着時走行距離および購入日の記載のない場合、または字句を書き換えられた場合
- 2, 保証書の提示がない場合
- 3, 使用損耗あるいは経年変化による劣化など、製造上の不具合と認められない場合
- 4, 登録後4年を経過した車両または走行距離が50,000Kmを超えるエンジンに装着した場合
- 5, 輸送中の不具合
- 6, レース・ラリー等通常の使用状態と異なる使用方法による破損・不具合
- 7, 指定のガソリン（無鉛ハイオク）以外のガソリンおよび粗悪ガソリン等の使用による不具合
- 8, エンジンオイル・ATFオイルのメンテナンス不良に起因する不具合
（推奨メンテナンス；エンジンオイル5,000Kmごと、ATFオイル20,000Kmごと交換）
- 9, 地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災によるもの。また薬品、融雪剤、塩害、飛石等の外部要因によるもの
- 10, 消耗品（Vベルト、ゴムホース類、ガスケット等）の破損・不具合
 - 11, 本書に指示のある調整以外の調整をおこなった場合（例、規定以上にブーストを上げた場合など）、また、純正およびトムス指定以外の吸排気系部品や電子部品の装着によるもの
 - 12, 取り付け作業時や分解時のまちがい、不備
 - 13, 機能上影響ない「感覚的現象」および本製品特有の現象
- 1) コンプレッサーの過給音等（過給時キーン音、クラッチ断続時のカチャッ音など）
- 2) 機能上差し支えないオイルにじみ
- 3) 本製品が主原因でない振動・ハーシュネス

[4] 保証対象外費用

➤ 以下に示すものの費用は負担いたしません

- 1, 自動車を使用できなかったことによる不便さおよび損失等（電話代、レンタカー代、宿泊費、休業補償、営業損失等）
- 2, 脱着工賃

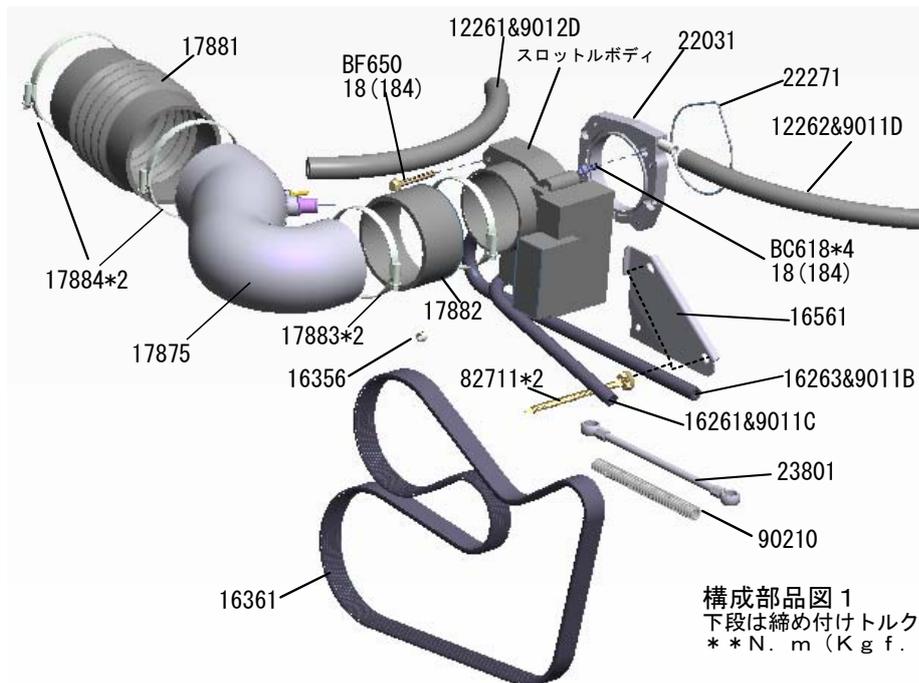
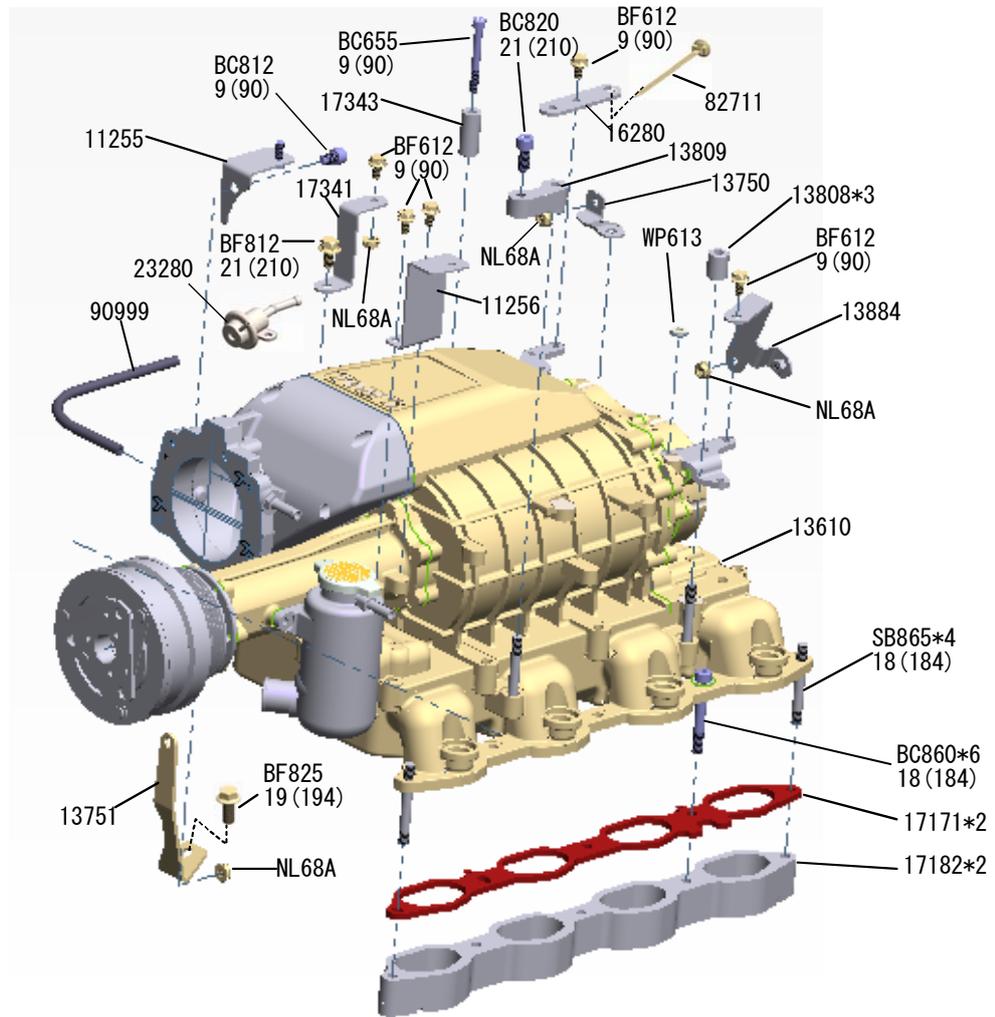
【7】 構成部品表

イラスト No.	品名	品番		個数/台
11255	エンジンカバーステーFrRH(ランクル200)	11255	TUJ20	1
11256	エンジンカバーステーFrLH(ランクル200)	11256	TUJ20	1
12261	ブローバーホースRH(ランクル200)	12261	TUJ20	1
12262	ブローバイホースLH(ランクル200)	12262	TUJ20	1
13610	コンプレッサーASSY	13610	T3UZ1	1
13750	フェルパイプブラケットNo. 1	13750	TUJ20	1
13751	ノーズステー	13751	TUJ20	1
13808	スパーサー, デリバリーパイプ	13808	TUJ20	3
13809	スパーサー, LH, デリバリーパイプ	13809	TUJ20	1
13884	フェルパイプブラケットNo. 2	13884	TUJ20	1
16261	スロットルヒーターホース, No. 1	16261	TUJ20	1
16263	スロットルヒーターホース, No. 2	16263	TUJ20	1
16264	ウォーターバイパスホース	16264	TUJ20	1
16277	ウォーターバイパスパイプ, No. 1	16277	TUJ20	1
16278	ウォーターバイパスパイプ, No. 2	16278	TUJ20	1
16279	ウォーターバイパスパイプ, No. 3	16279	TUJ20	1
16280	ブラケット, ウォーターバイパスパイプ	16280	TUJ20	1
16290	ウォーターポンプ	16290	T3UZ0	2
16291	ウォーターポンプステー	16291	T3UZ0	1
16292	ウォーターポンプクランプバンド	16292	T3UZ0	2
16356	テーパースクリュープラグ	16356	TUJ20	1
16361	Vリブドベルト	16361	TUJ20	1
16510	インタークーラーラジエターASSY	16510	T3UZ0	1
16511	インタークーラーラジエタートレー	16511	T3UZ0	1
16512	インタークーラーラジエターステー(UZJ200)	16512	TUJ20	1
16517	インタークーラーラジエターロアステーRH(UZJ200)	16517	TUJ20	1
16518	インタークーラーラジエターロアステーLH(UZJ200)	16518	TUJ20	1
16519	プレートナット, インタークーラーラジエター	16519	TUJ20	1
16551	ポンプ to ラジエターホース No.1	16551	T3UZ0	1
16552	ポンプ to ラジエターホース No.2	16552	T3UZ0	1
16553	インタークーラーインレットホース(ランクル200)	16553	TUJ20	2
16554	インタークーラーアウトレットホース	16554	T3UZ0	1
16556	リザーブタンクホース(ランクル200)	16556	TUJ20	1
16557	リザーブタンクホースバンド	16557	T3UZ0	4
16558	リザーブタンク用3ウェイ	16558	T3UZ0	1
16561	ガイド, インタークーラーホース	16561	TUJ20	1
16570	パイプ, ラジエターアッパー	16570	TUJ20	1
16571	ラジエターアッパーホース, No. 1	16571	TUJ20	1
16572	アウトレットホースバンド	16572	T3UZ0	2
16573	インレットホースバンド	16573	T3UZ0	8
16574	ラジエターアッパーホース, No. 2	16574	TUJ20	1
17171	ガスケット, インテークマニホールド	17171	50020	2
17182	アダプター, インテークマニホールド	17182	TUJ20	2
17341	ステー, VCV	17341	TUJ20	1
17343	カラー, バキュームパイプ	17343	TUJ20	1
17875	エアインレットダクト	17875	TUJ20	1
17881	エアインレットホース	17881	TUJ20	1
17882	ホース, エアインレットダクト	17882	TUJ20	1

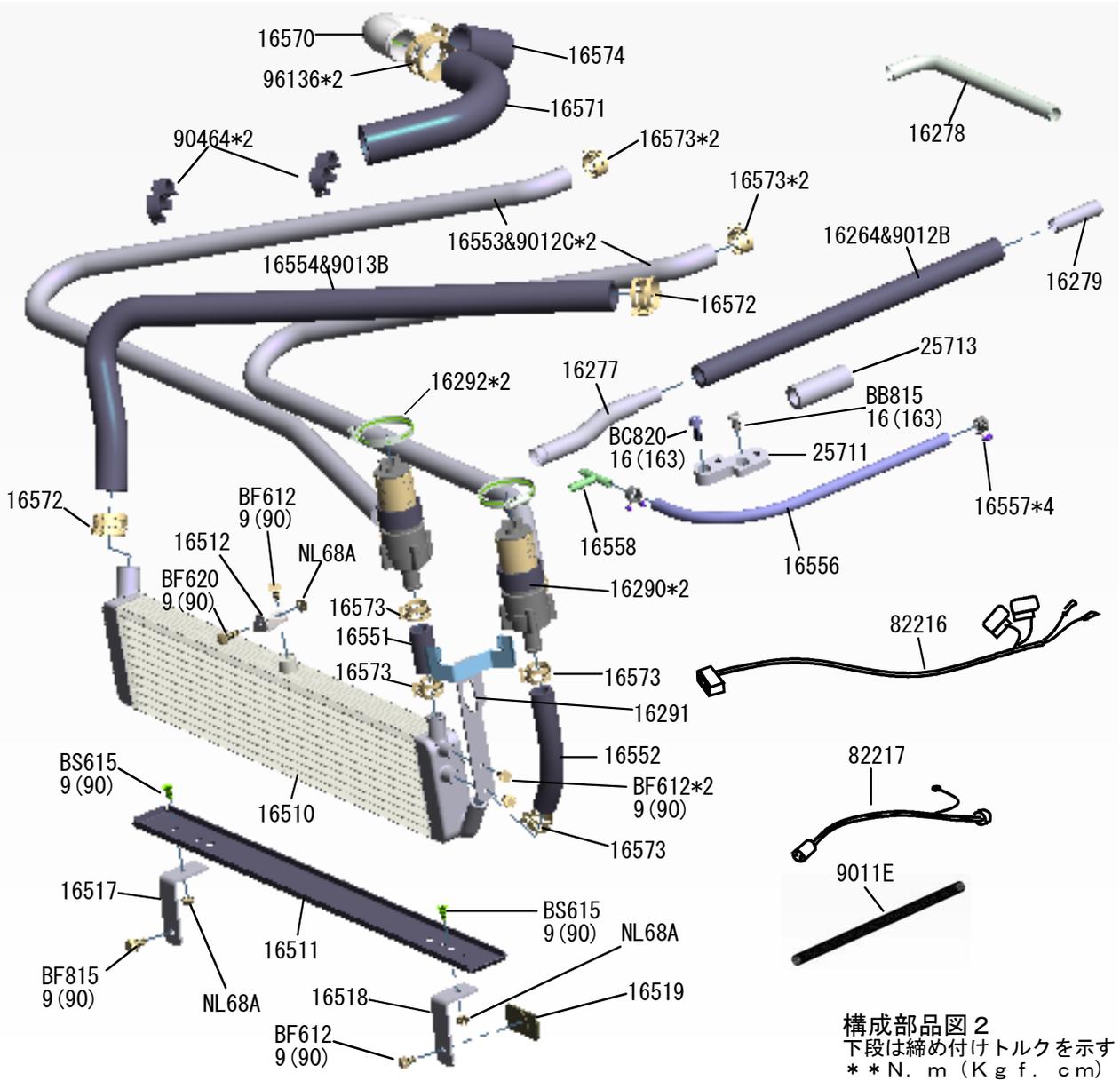
イラスト No.	品名	品番		個数/台
17883	ホースクランプ90-100mm	17883	TUJ20	2
17884	ホースクランプ100-110mm	17884	TUJ20	2
22031	アダプター, スロットルボディ	22031	TUJ20	1
22271	Oリング, スロットルボディアダプター	22271	TUJ20	1
23280	フェルプレッシャーレギュレーター	23280	TUZ20	1
23801	フェルラインNo. 1	23801	T2UZ0	1
25711	ブラケット, エアスイッチバルブ	25711	TUJ20	1
25713	エアインジェクションホース	25713	TUJ20	1
82216	ウォーターポンプハーネス(UZJ200)	82216	T2UZ0	1
82217	マグネットクラッチハーネス	82217	T3UZ0	1
82711	ワイヤーハーネスバンド	82711	16830	3
89600	エンジンECU(TECⅡ)	89600	TUZ20	1
9011B	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#12*760	90112	T0760	1
9011C	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#12*460	90112	T0460	1
9011D	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#12*470	90112	T0470	1
9011E	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#12*280	90112	T0280	1
9012B	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#19*430	90119	T0430	1
9012C	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#19*1800	90119	T1800	2
9012D	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#19*360	90119	T0360	1
9013B	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#30*1150	90130	T1150	1
90210	コルゲートチューブ φ10*260mm	90210	T0260	1
90464	ホースクランプ	90464	00410	2
90999	バキュームホース	90999	T2UZ0	1
9304A	タイラップバンド 4.5	93045	T0130	1
96136	バンド, ラジエターアッパーホース	96136	54801	2
BB815	ボタンキャップボルト M8x1.25x15	J1174	08152	1
BC618	キャップボルト M6x1.0x18	J1176	06182	4
BC655	キャップボルト M6x1.0x55	J1176	06552	1
BC812	キャップボルト M8x1.25x12	J1176	08122	1
BC820	キャップボルト M8x1.0x20	J1176	08202	2
BC860	キャップボルトワッシャーつき M8x1.0x60	J1176	18602	6
BF612	フランジ付六角ボルト M6*1.0*12	J1189	06122	9
BF620	フランジ付き六角ボルト M6x1.0x20	J1189	06202	1
BF650	フランジ付六角ボルト M6*1.0*50	J1189	06502	1
BF812	フランジ付き六角ボルト M8x1.25x12	J1189	08122	1
BF815	フランジ付き六角ボルト M8x1.25x15	J1189	08152	1
BF825	フランジ付六角ボルト M8*1.25*25	J1189	08252	1
BS615	サラキャップボルト M6x1.0x15	J1194	06152	2
NL68A	ロックナット M6X1.0	J1181	16800	7
SB865	スタッドボルト M8x1.0x65	J1173	08650	4
WP613	平ワッシャーM6	J1256	06132	1
Z0001	取扱説明書	Z0001	SP001	2
Z0010	Vリブドベルトラベル・フェルコーションラベル	Z0010	SP001	1

【 8 】 構成部品図

→ 構成部品表のイラスト番号と対応しています。



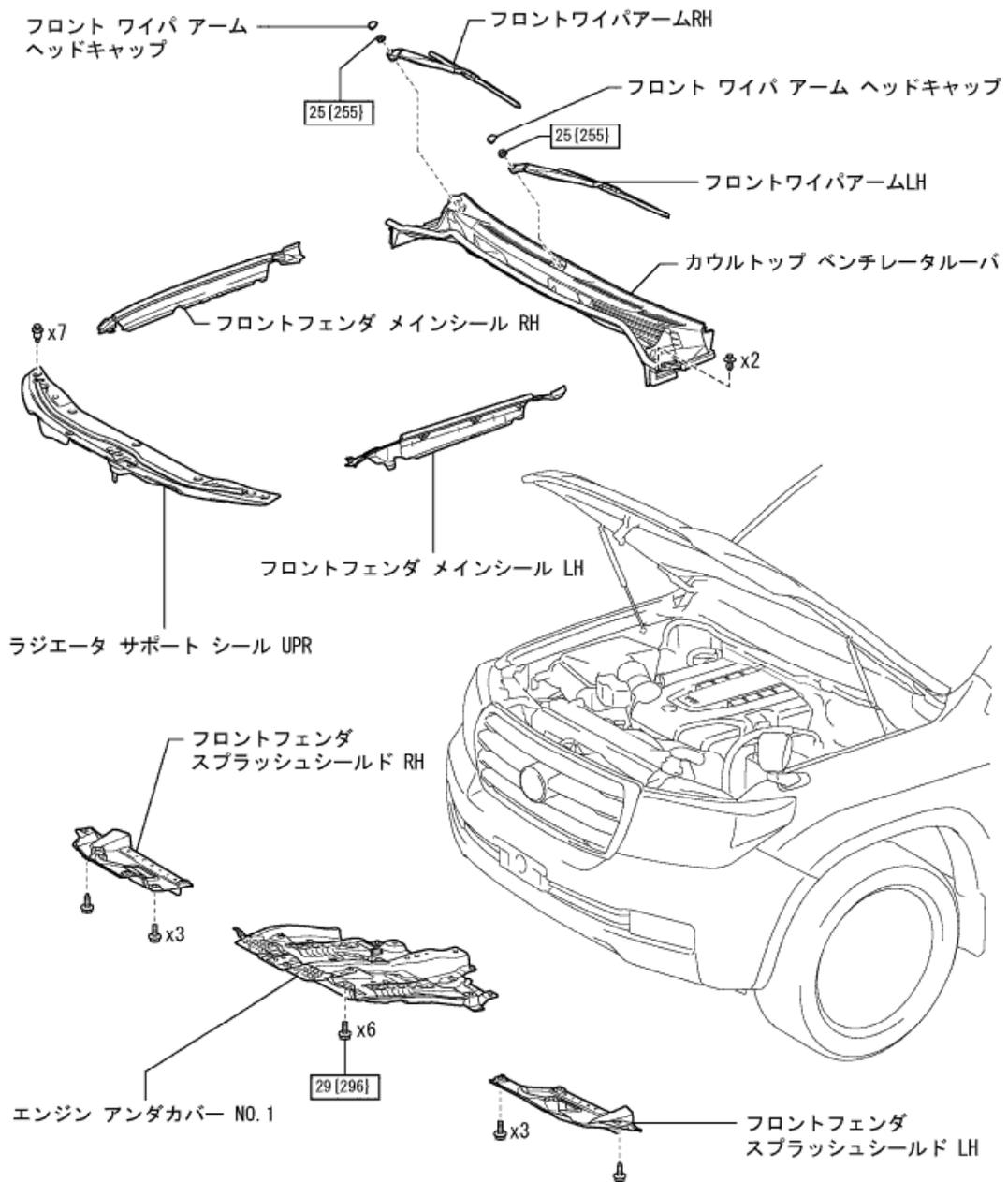
構成部品図 1
下段は締め付けトルクを示す
* * N . m (K g f . c m)



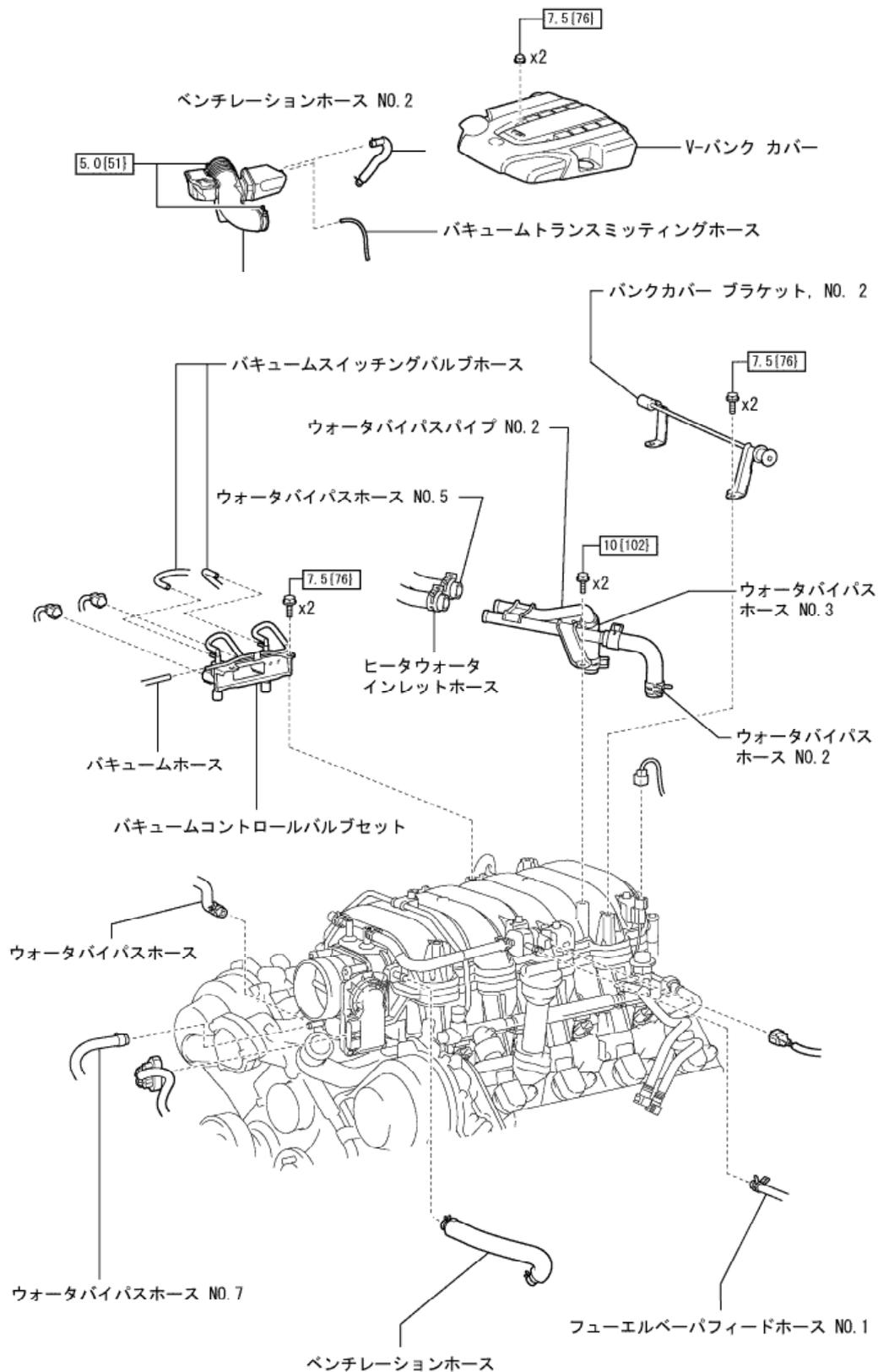
構成部品図 2
 下段は締め付けトルクを示す
 ** N. m (Kg f. cm)

【9】 取り付け

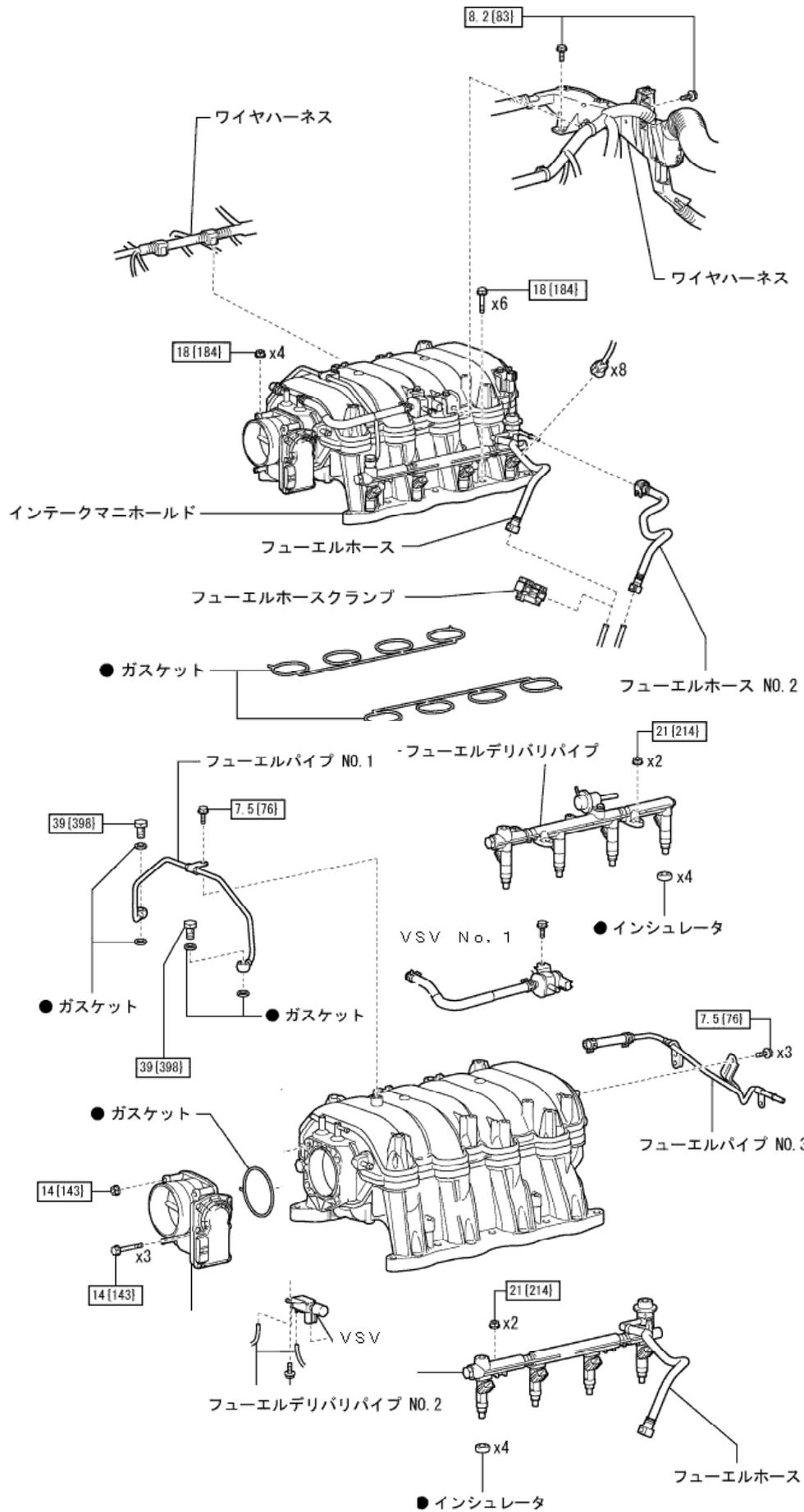
[1] 純正部品はずし

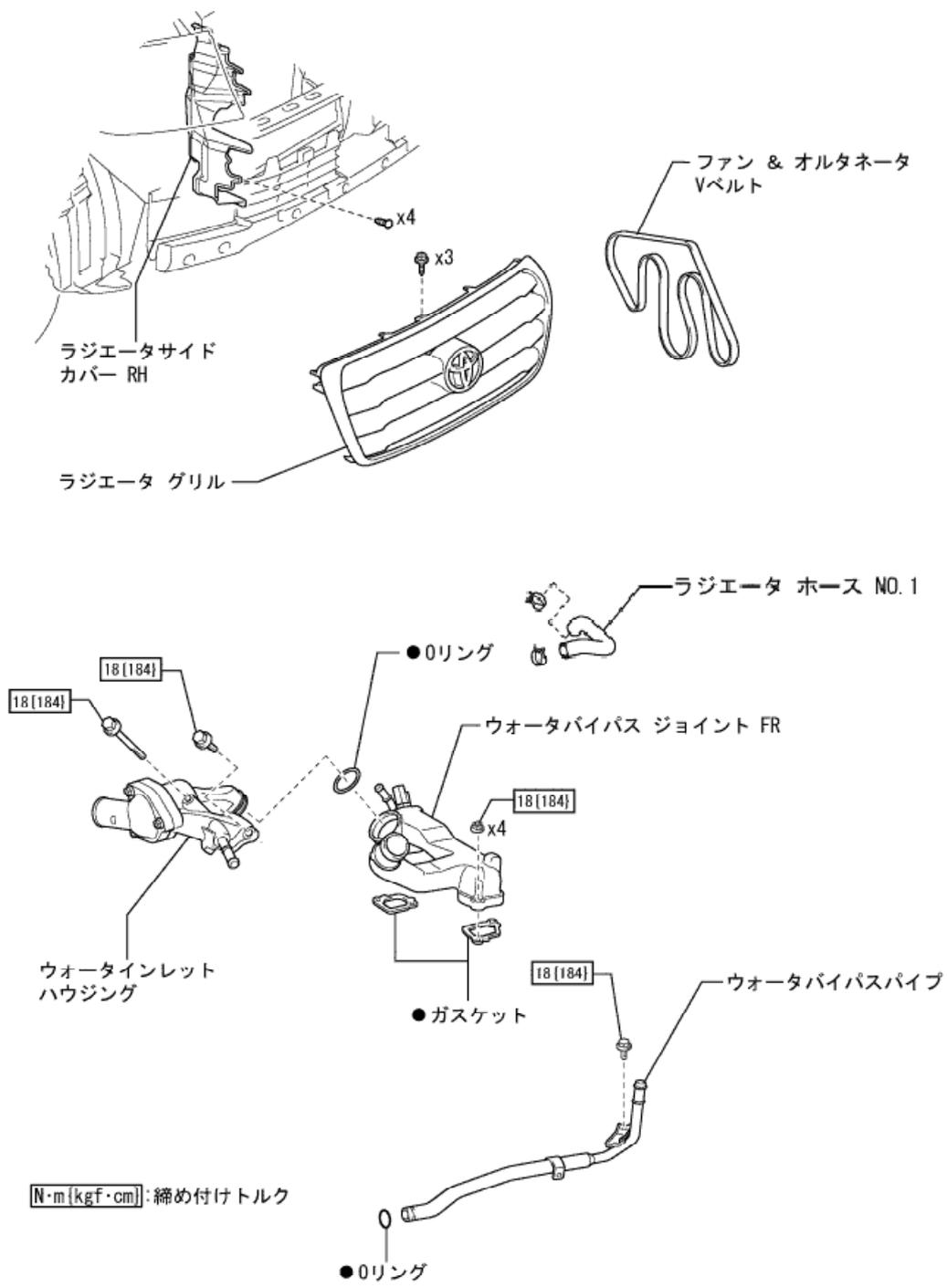


N·m [kgf·cm]: 締め付けトルク

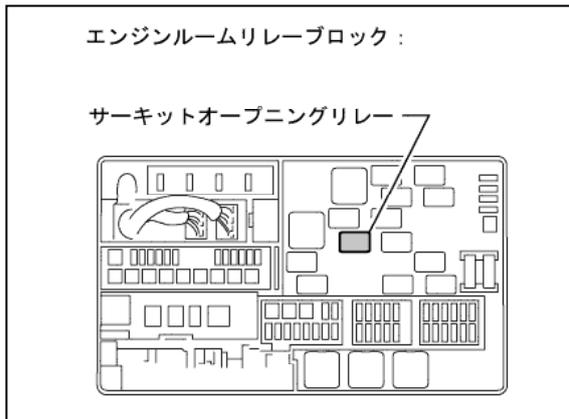


[N·m [kgf·cm]]: 締め付けトルク





脱着部品図を参照して以下の部品をはずす



1, 燃料流出防止作業

- 1) エンジンルームジャンクションブロックカバーをはずす
- 2) サーキットオープニングリレーをはずす
- 3) エンジンを始動する
- 4) エンジンが自然に停止したあと、イグニッションスイッチを OFF にする

→ダイアグコード P1603(エンスト検出)および P0171/25(リーン異常)が検出される場合があるため作業終了後ダイアグコードを点検/消去を行なう

→再度エンジンをクランキングし、始動しないことを確認する

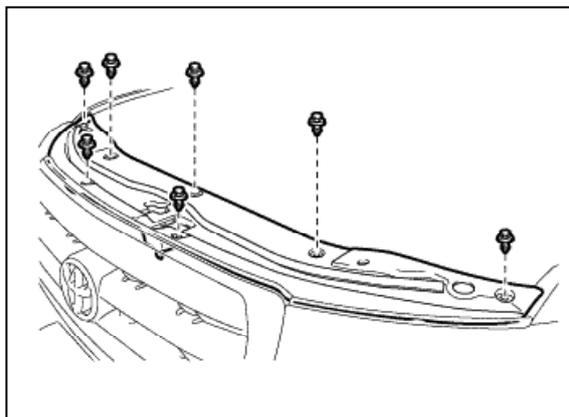
- 5) フuelタンクキャップをはずし、フuelタンク内の圧力を抜く

6) バッテリーのマイナスターミナルを切り離す
→エアバッグ・プリテンショナーシステムはバックアップ電源を備えているため、バッテリーのマイナスターミナルをはずしてから 90 秒経過しないうちに作業を開始するとエアバッグが作動するおそれがある

→HDD ナビゲーションシステムは IG OFF 後、約 6 分間で各種メモリーおよび設定などを記憶するため、必ず IG OFF 後、6 分以上経過してからバッテリーマイナスターミナルを切り離す

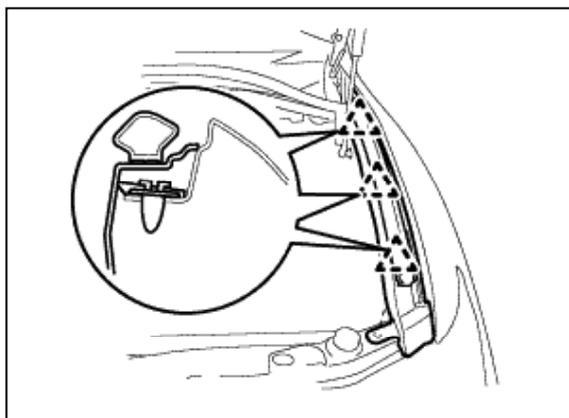
2, ラジエター サポート シール UPR はずし

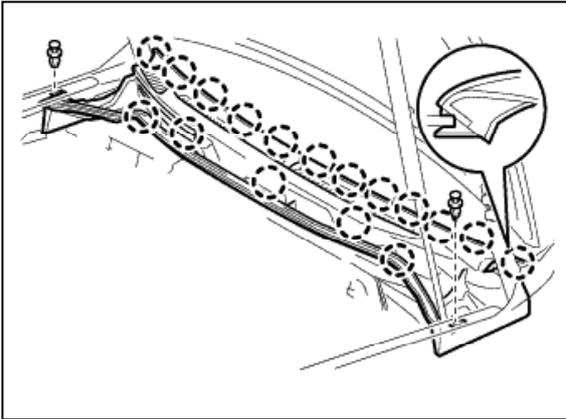
- 1) クリップ 7 個をはずし、ラジエターサポートシール UPR をはずす



3, フロントフェンダ メインシールはずし

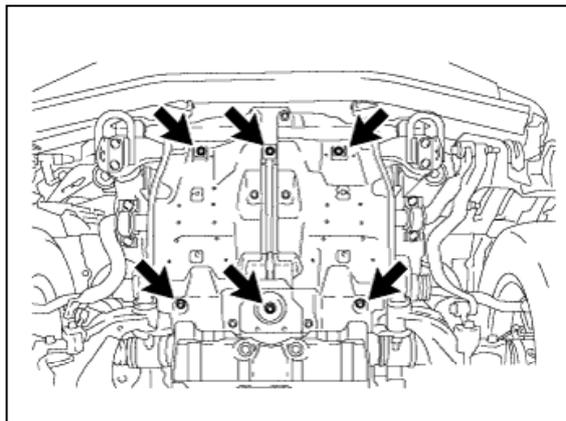
- 1) クリップリムーバーを使用して、クリップのかん合 3 箇所をはずしフロントフェンダメインシール LH をはずす





4, フロントワイパアームはずし

- 1) ウィンドシールドワイパアームカバーをはずす
- 2) フロントワイパアームナットをはずし、フロントワイパアームをはずす
- 3) ウォッシャーホースを切り離す
- 4) クリップリムーバーを使用してクリップ 2箇所をはずす
- 5) ツメのかん合 17箇所をはずし、カウルトップベンチレータールーバーをはずす

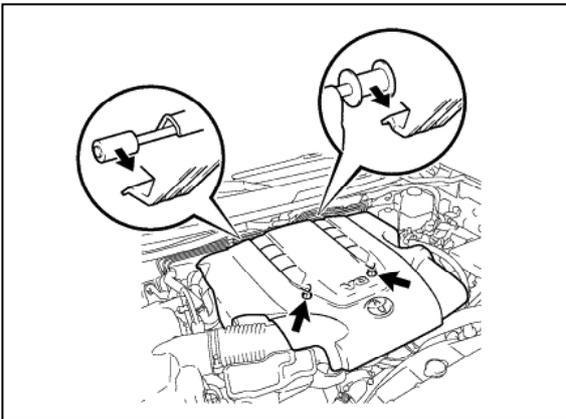


5, エンジンアンダーカバー-NO.1 はずし

- 1) ボルト 6本をはずしエンジンアンダカバー-No.1をはずす

6, 冷却水抜き取り

- 1) ラジエータドレンコックプラグをゆるめる
- 2) ラジエータキャップを取りはずし、冷却液を抜き取る
- 3) シリンダブロックウォータドレンコックプラグ 2個をゆるめ、エンジン内の冷却液を抜き取る

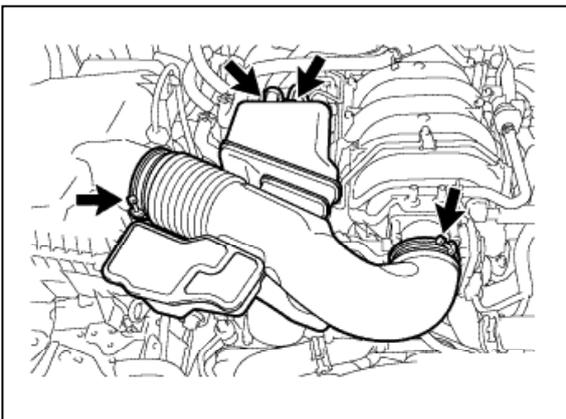


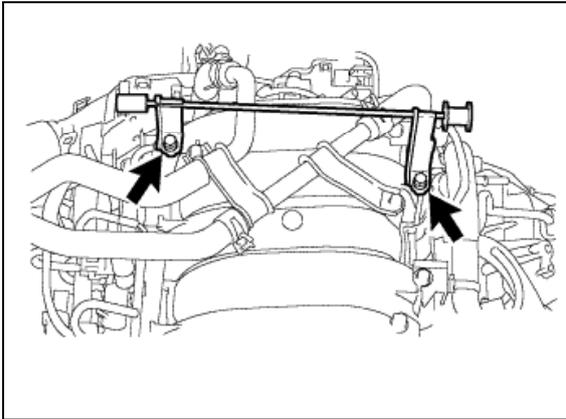
7, Vバンクカバーはずし

- 1) ナット 2個をはずす
- 2) カバー前側に両手をかけ、上方に持ち上げてカバーを車両前方にスライドさせて、Vバンクカバーをはずす

8, エアクリーナーホース ASSY はずし

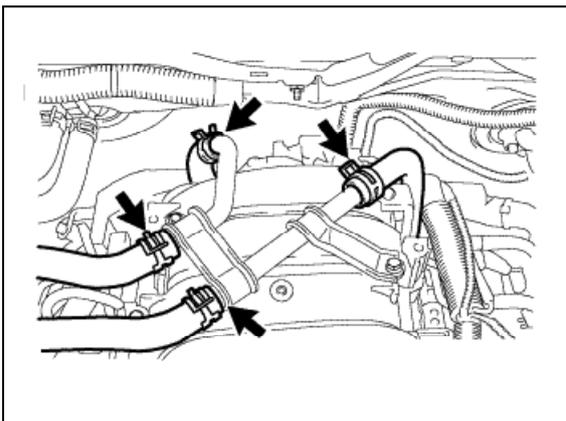
- 1) ベンチレーションホース No.エアクリーナーホーストランスミッティングホースを、エアクリーナーホース ASSY から切り離す
- 2) ホースクランプ 2個をゆるめ、エアクリーナーホース ASSY をはずす





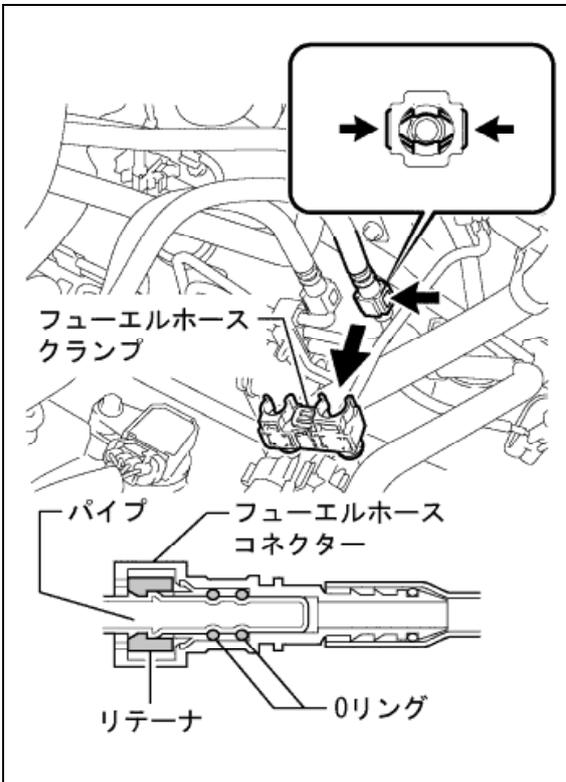
9, バンクカバーブラケット,NO. 2 はずし

- 1) ボルト 2 本をはずし、バンクカバーブラケット No.2 をはずす



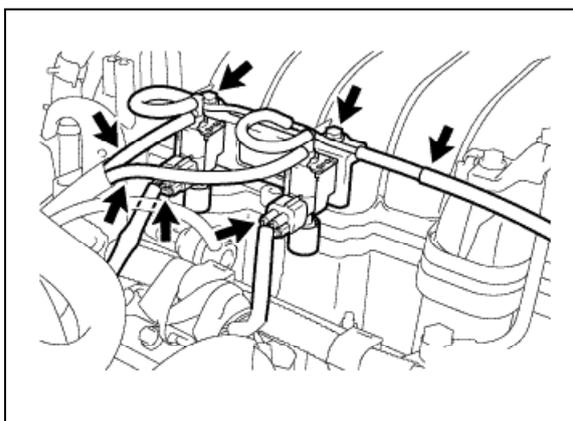
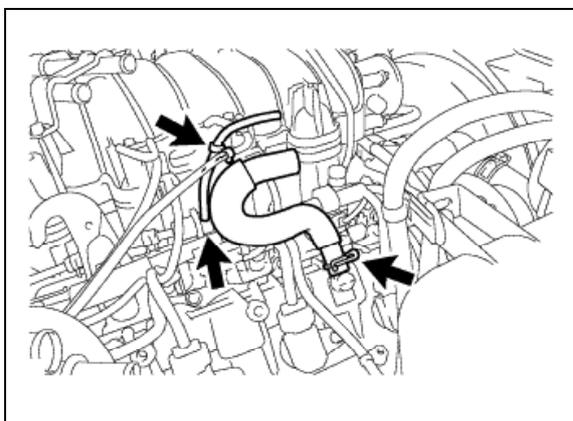
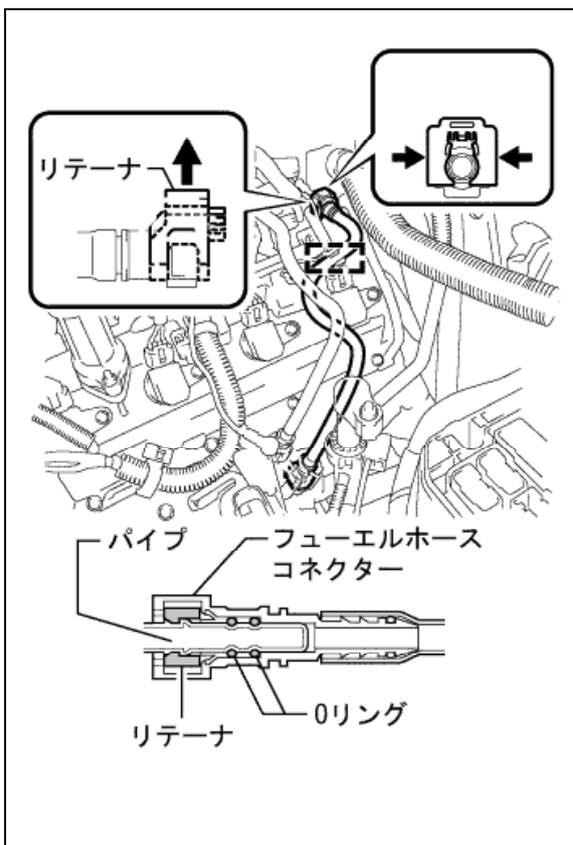
10, ウォーターバイパスパイプ NO.2 はずし

- 1) クランプ 2 箇所をはずし、ヒーターウォーターインレットホースおよびウォーターバイパスホース No.5 をウォーターバイパスパイプ No.2 から切り離す
- 2) クランプ 2 箇所をはずし、ウォーターバイパスホース No.2、ウォーターバイパスホース No.3 をウォーターバイパスパイプ No.2 から切り離す
- 3) ウォーターバイパスホース No.2 をウォーターバイパスパイプからはずす
- 4) ウォーターバイパスホース No.3 をウォーターバイパスジョイント RR からはずす



11, フuelホース切り離し

- 1) フuelホースクランプをフuelホースおよびフuelホース No.2 からはずす
 - 2) フuelホースコネクタをつまみ、フuelホースをフuelパイプから切り離す
- ⇒ 作業前にフuelホースコネクタ部に付着した泥などの異物を取り除く。
 - ⇒ フuelホースコネクタは、Oリングによりフuelホースコネクタとパイプをシールしているため、接続部の傷つきおよび異物の付着に対して十分注意して作業を行う。
 - ⇒ 脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない。
 - ⇒ フuelホース切り離し後、接続部をビニール袋で保護する。
 - ⇒ フuelホースコネクタとパイプが固着している場合は、押したり引いたりして固着を解除してから引き抜く



1 2,ベンチレーションホース NO.2 はずし

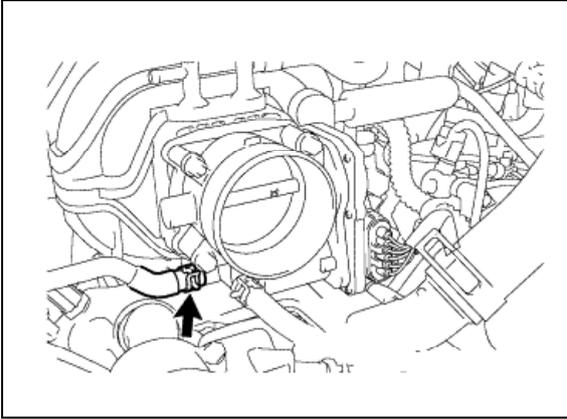
- 1) ベンチレーションホース No.2 をはずす
- 2) バキュームトランスミッティングホースからクランプを切り離す
- 3) バキュームトランスミッティングホースをフェルプレッシャレギュレータ ASSY からはずす

1 3,バキュームコントロールバルブセット取りはずし

- 1) バキュームホースおよびバキュームスイッチングバルブホース 2 本をバキュームコントロールバルブセットから切り離す
- 2) コネクター 2 個を切り離す
- 3) ボルト 2 本をはずし、バキュームコントロールバルブセットをはずす

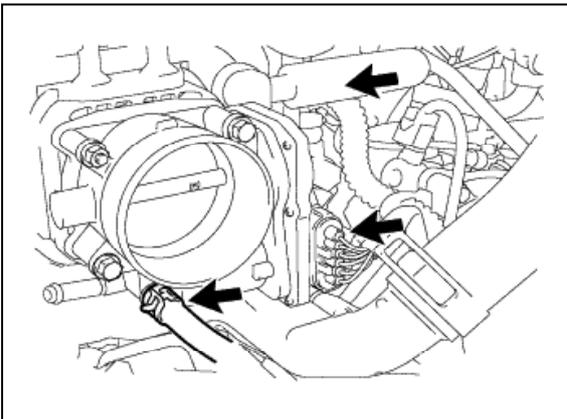
14, ウォーターバイパスホース切り離し

- 1) ウォーターバイパスホースをスロットルボディ ASSY から切り離す



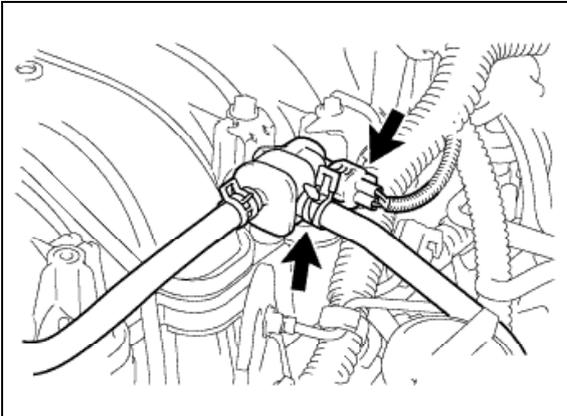
15, ウォーターバイパスホース NO.7切り離し

- 1) ウォーターバイパスホース No.7 をスロットルボディ ASSY から切り離す
- 2) ベンチレーションホースを取りはずす
- 3) コネクターをスロットルボディ ASSY から切り離す



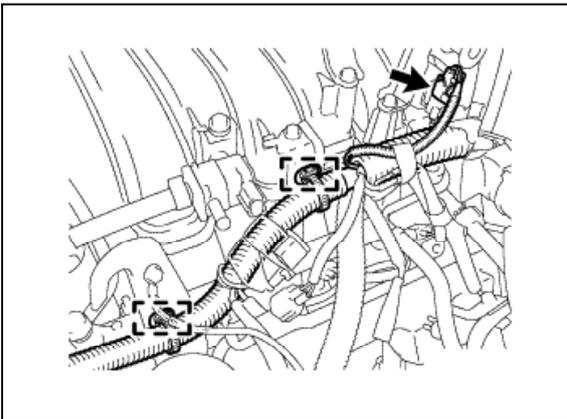
16, インテークマニホールドはずし

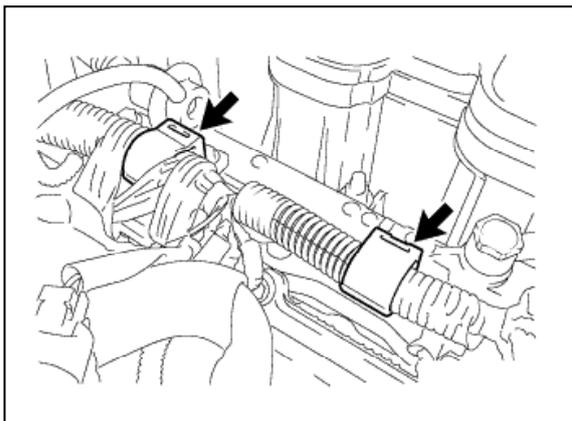
- 1) コネクターを切り離す
- 2) フuelベーパーフィードホース No.1 をバキュームスイッチングバルブ ASSY No.1 より切り離す



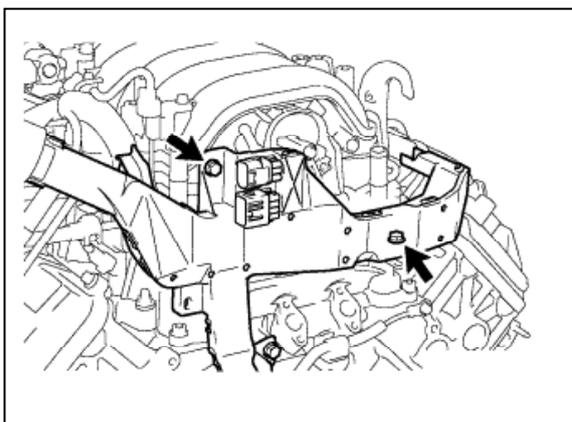
- 3) コネクターを切り離す
- 4) クリップリムーバーを使用して、ワイヤハーネスクランプ 2箇所を切り離す

→ マニホールドからハーネスマウントとボルトをはずす

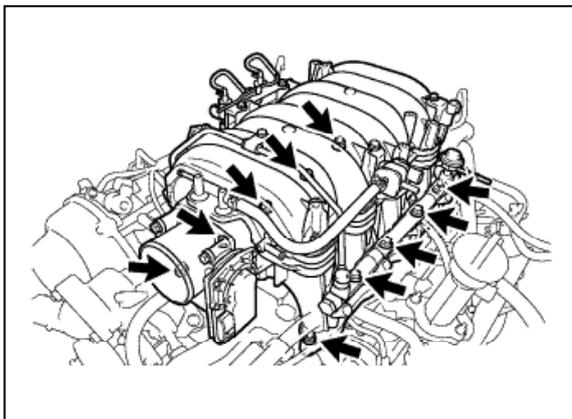




- 5) ワイヤハーネスクランプ 2 箇所をフェルデリバリパイプから切り離す
- 6) フェルインジェクタコネクタを 8 箇所切り離す



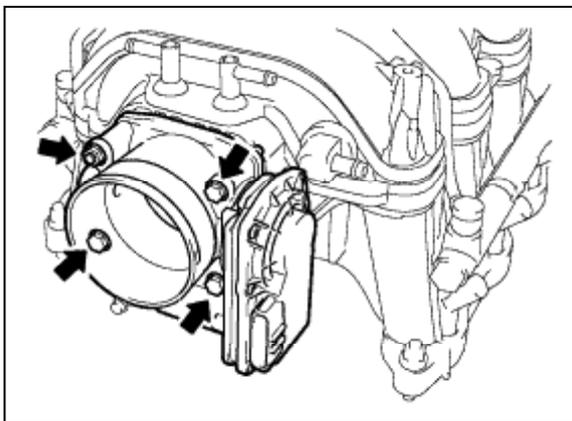
- 7) ボルト 2 本をはずし、ワイヤハーネスをずらす



- 8) ボルト 6 本およびナット 4 個をはずし、インテークマニホールドをはずす
- 9) インテークマニホールドよりガスケット 2 個をはずす

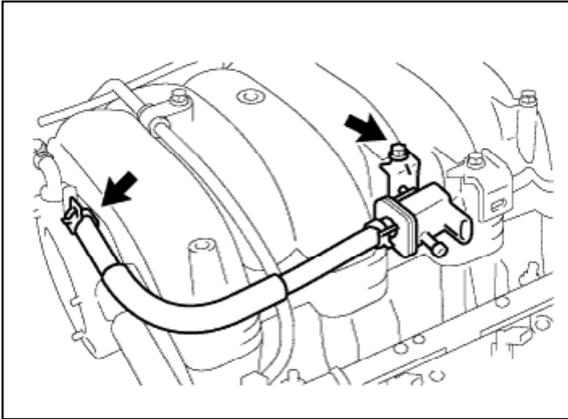
17, スタッドボルトはずし

- 1) シリンダーヘッドのインテークマニホールド取り付け用スタッドボルト 4 本をはずす
→スタッドボルトブローまたはバイスプライヤーを使用する。はずれない場合は、ナットをダブルに取り付け下側ナットをゆるめ方向に回すと同時にバイスプライヤーを併用するとよい



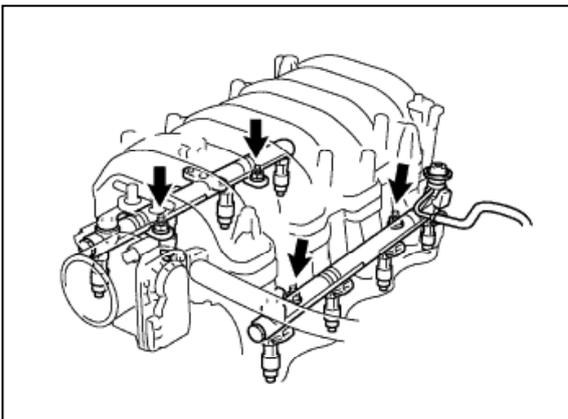
18, スロットルボディ-ASSY はずし

- 1) ボルト 3 本およびナットをはずし、スロットルボディ ASSY をはずす



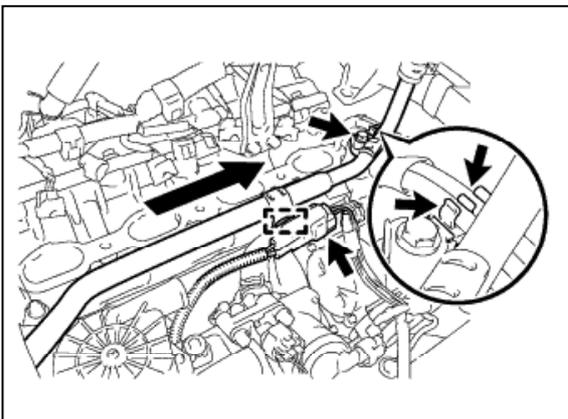
19,バキュームスイッチングバルブ ASSY, NO.1 取りはずし

- 1) フuelベーパーフィードホースをインテークマニホールドより切り離す
- 2) ボルトをはずし、バキュームスイッチングバルブ ASSY, No.1 をはずす



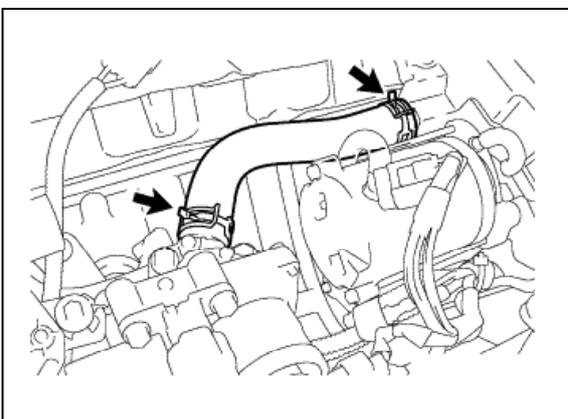
20,フエルデリバリパイプ取りはずし

- 1) ボルト2本をはずし、フエプレッシャーレギュレーターをはずす
- 2) ナット4個をはずし、フエルデリバリパイプおよびフエルデリバリーパイプ No.2 を真上へ引き上げてははずす
- 3) インジェクターパイプレーションインシュレーター8個をインテークマニホールドからははずす



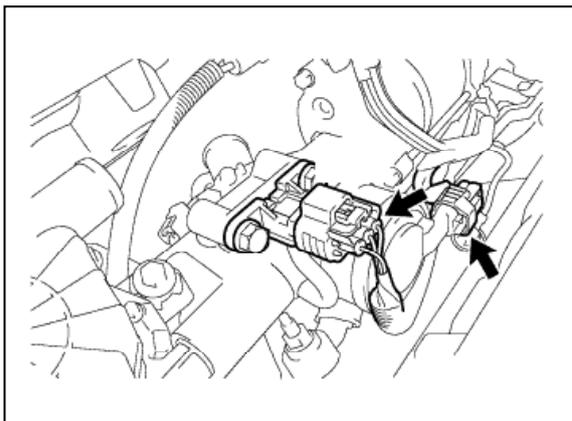
21,ウォーターバイパスパイプ取りはずし

- 1) コネクターを切り離す
- 2) ウォーターバイパスパイプからワイヤハーネスクランプを切り離す
- 3) バキュームスイッチングバルブホース2本をウォーターバイパスパイプクランプから切り離す
- 4) ボルトをはずし、ウォーターバイパスパイプをはずす
- 5) ウォーターバイパスパイプよりOリングをはずす



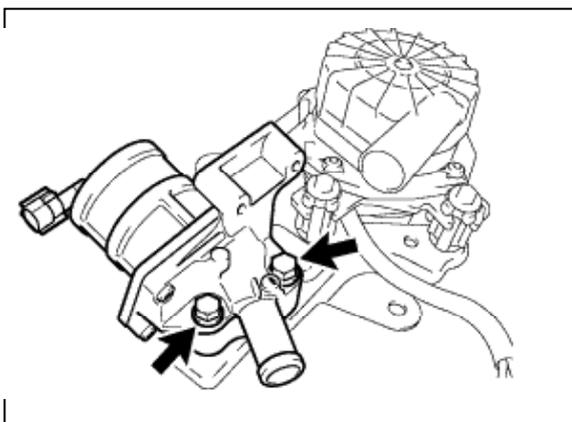
22,エアインジェクションシステム ホース NO.2 取りはずし

- 1) エアインジェクションシステムホース No.2 をはずす



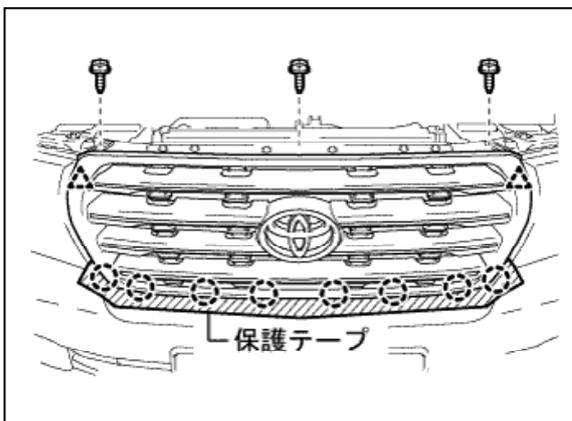
2 3,エアスイッチングバルブ ASSY はずし

- 1) エアプレッシャーセンサからコネクタを切り離す
- 2) エアスイッチングバルブ ASSY からコネクタを切り離す
- 3) バキュームホースをエアプレッシャーセンサおよびエアスイッチングバルブ ASSY からはずす
- 4) ボルト 2 本をはずし、エアスイッチングバルブ ASSY をはずす



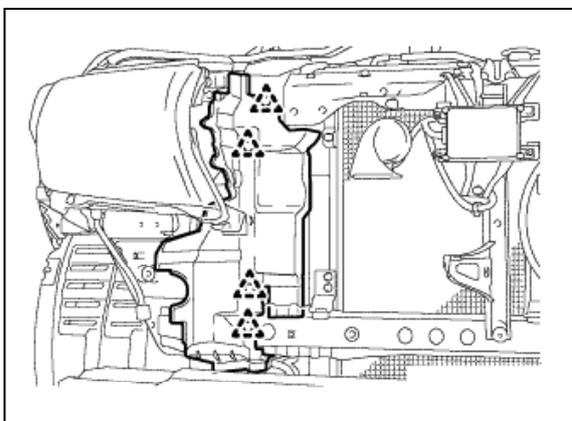
2 4,ラジエター グリル取りはずし

- 1) スクリューを 3 本はずす
- 2) クリップ 2 箇所およびツメ 8 箇所のかん合をはずし、ラジエターグリルをはずす



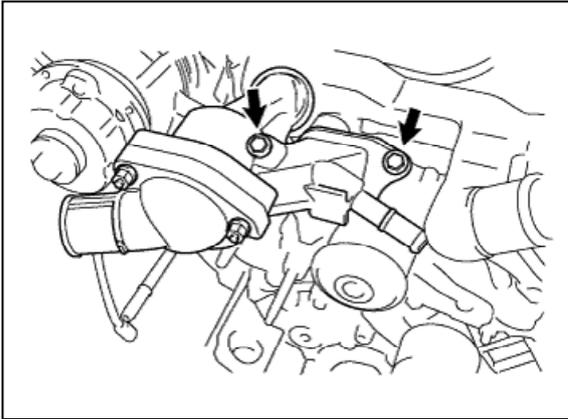
2 5,ラジエターサイドカバー RH 切り離し

- 1) クリップリムーバーを使用してクリップ 4 個をはずし、ラジエターサイドカバーRH を切り離す



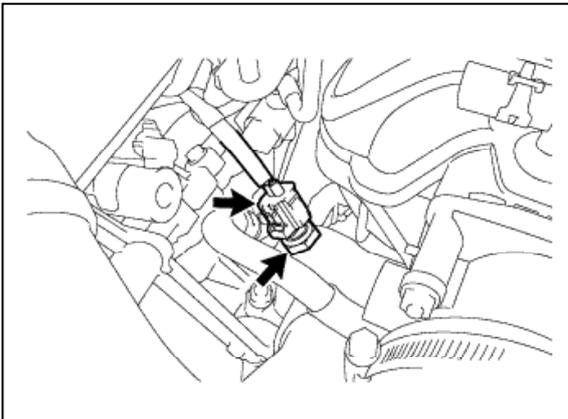
26, ラジエター ホース NO.1 はずし

- 1) ホースクランプ 2箇所をはずし、ラジエターホース No.1 をはずす



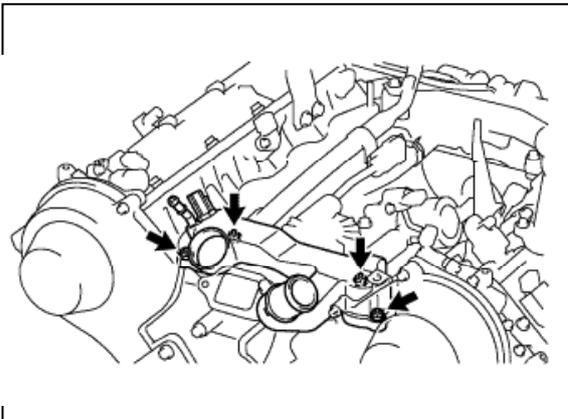
27, ウォーターインレットハウジングはずし

- 1) ボルト 2本をはずし、ウォーターインレットハウジングをウォーターポンプ ASSY およびウォーターバイパスジョイント FR からはずす
- 2) ウォーターインレットハウジングから、Oリングをはずす



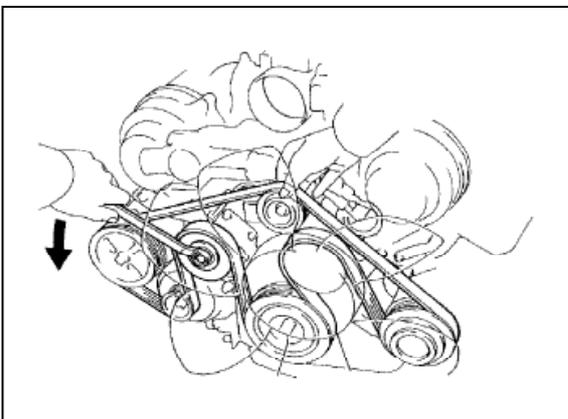
28, E.F.I. ウォーターテンパラチャはずし

- 1) E.F.I. ウォーターテンパラチャのコネクターを切り離す
- 2) ディープソケットレンチ(19mm)を使用して E.F.I. ウォーターテンパラチャおよびガスケットをはずす



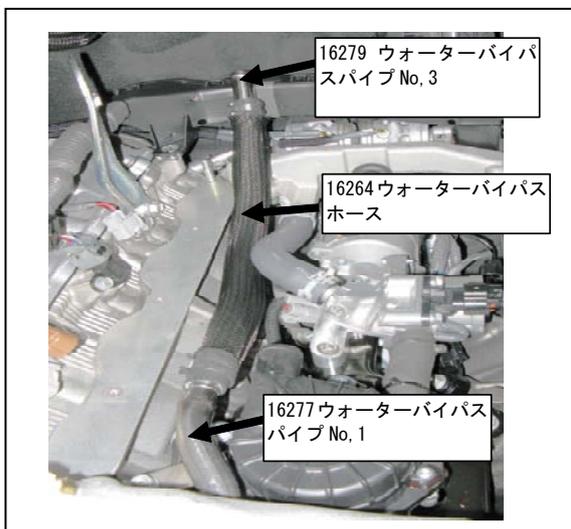
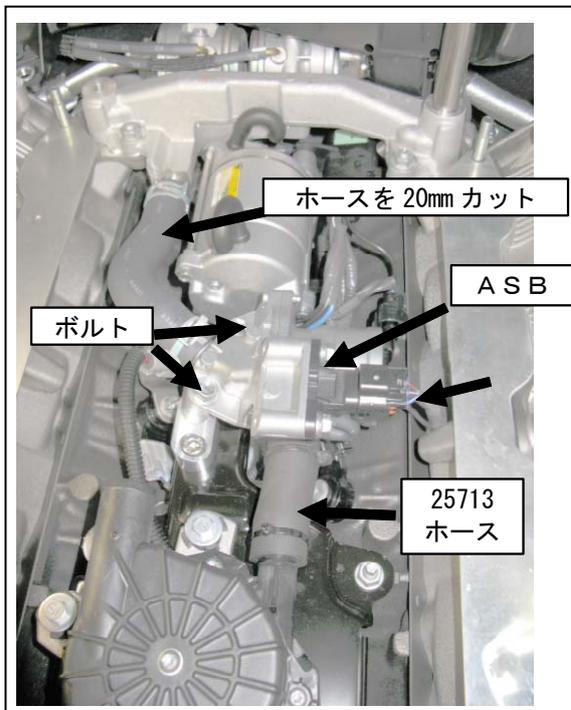
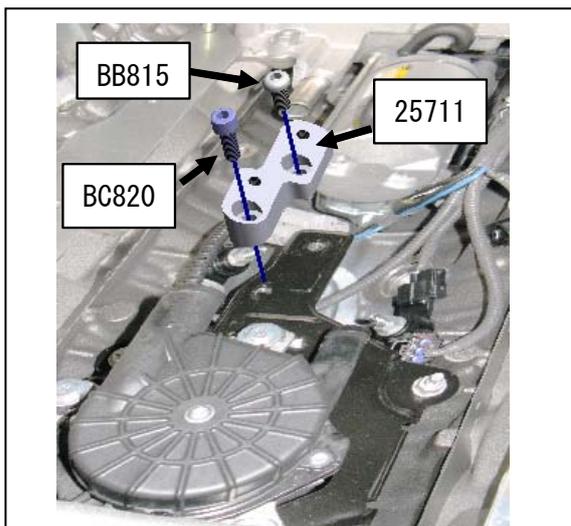
29, ウォーターバイパスジョイント FR はずし

- 1) ナット 4個をはずし、ウォーターバイパスジョイント FR およびガスケット 2個をはずす



30, ファン&オルタネータ Vベルトはずし

- 1) ベルトテンショナのプリーセットボルトに工具を掛け、ベルトテンショナを左に回転させて張力をゆるめ、Vベルトを取りはずす
- ⇒ プリーセットボルトは左ねじを使用しているため、右回転させるとプリーセットボルトがゆるむ



[2] コンプレッサー本体取り付け

1, エアスイッチングバルブ取り付け

- 1) 25711 ブラケット、エアスイッチングバルブを BC820 ボルトおよび BB815 ボルトで取り付ける

⇒ 締付けトルク 16N.m(163Kgf.cm)

- 2) 前述 2-2-1)ではずしたエアインジェクションシステムホース No.2 を 20 mm カットしてエアスイッチングバルブ (ASB) に取り付ける

→バンドは再使用する

- 3) 25713 エアインジェクションホースを ASB に取り付ける

- 4) はずしたボルト 2 本を使用して ASB を 25711 ブラケットに取り付ける

⇒ 締付けトルク 16N.m(163Kgf.cm)

- 5) コネクターを取り付ける

2, ウォーターバイパスパイプ・ホース交換

- 1) 16264 ウォーターバイパスホースに 9012B ホースプロテクターを取り付ける

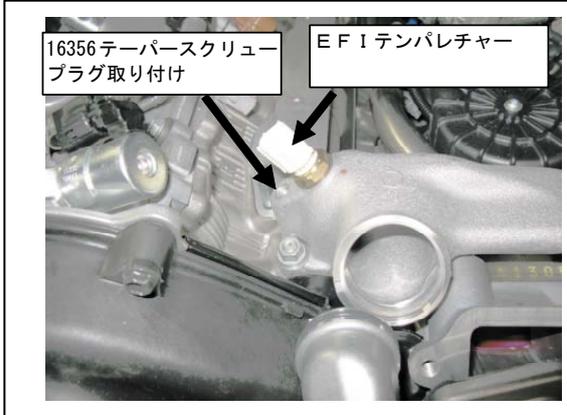
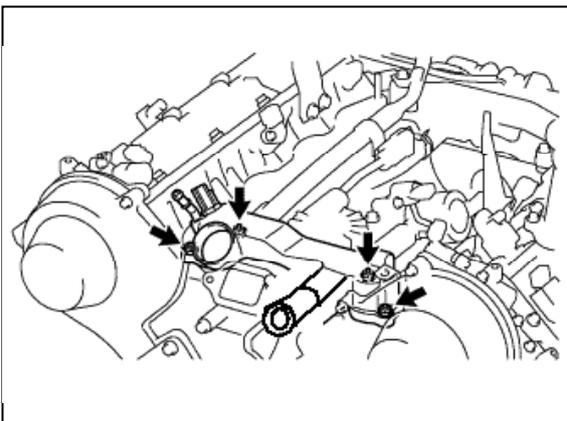
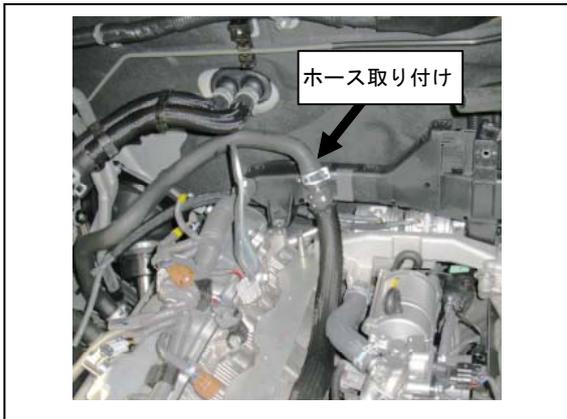
→メッシュの端面を広げてホースに通し、メッシュをふくらませながらホースに入れていく

- 2) 新品の O リング(96761-24019)に石けん水を塗布し、16277 ウォーターバイパスパイプ No,1 のフロント側先端に取り付ける

- 3) 16277 ウォーターバイパスパイプ No,1、16264 ウォーターバイパスホース、16279 ウォーターバイパスパイプ No,3 を取り付ける

→バンドは純正を再使用する (前述 [1] 10-1) 2)参照)

→バイパスパイプ No,1 の取り付けボルトはあとで取り付ける



- 4) 16279 ウォーターバイパスパイプ No,3 にウォーターバイパスホース No,5 を取り付ける
→バンドは純正を再使用する (前述 [1] 10-1)

2)参照
⇒ **ホースとボディが干渉しないように (10 mm 以上のすきま確保)、ホースやパイプブラケットなどを調整する**

3, ウォーターバイパスジョイント交換

- 1) 別途購入したウォーターバイパスジョイント Fr(16355-50070)およびガスケット 16341-50020 をボルト4本で取り付ける

→ボルトは再使用する

- 16277 ウォーターバイパスパイプ No,1 を共締めする

⇒ **締付けトルク 18N.m(184Kgf.cm)**

- 2) ディープソケットレンチ(19mm)を使用して E.F.I. ウォーターテンパレチャおよびガスケットを取り付ける

⇒ **締付けトルク 18N.m(184Kgf.cm)**

- 3) E.F.I. ウォーターテンパレチャのコネクターを取り付ける

- 4) 16356 テーパースクリーブプラグにシール剤を塗布してウォーターバイパスジョイント Fr に取り付ける

⇒ **締付けトルク 18N.m(184Kgf.cm)**

- 5) ウォーターインレットハウジングをとりつける

⇒ **締付けトルク 18N.m(184Kgf.cm)**

→ Oリングは新品を使用する(96761-35035)

4, アダプター、インテークマニホールド取り付け

- 1) BS865 スタッドボルトを [1] -17 ではずしたスタッドボルトの位置に取り付ける

→ナットをダブルに取り付け上側ナットを締め付ける

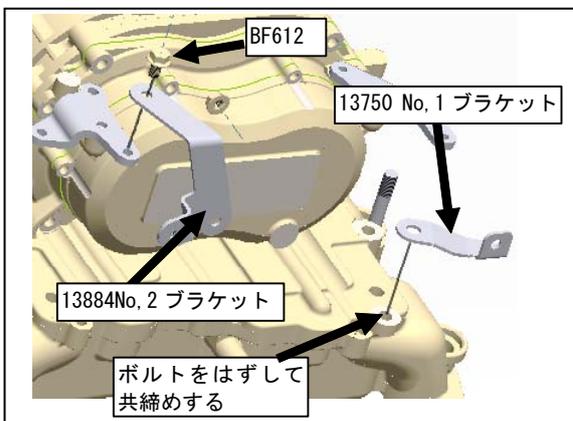
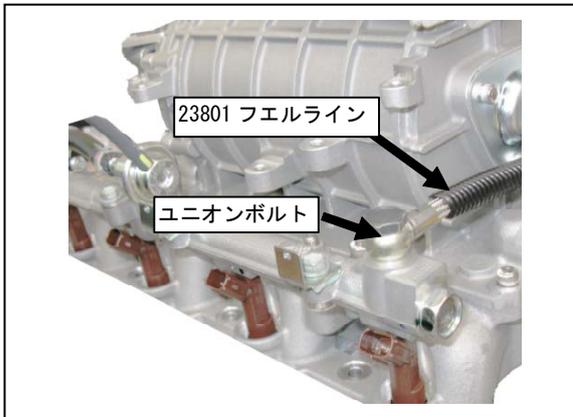
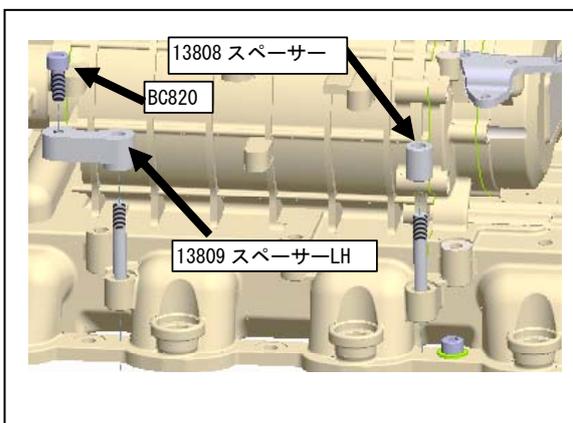
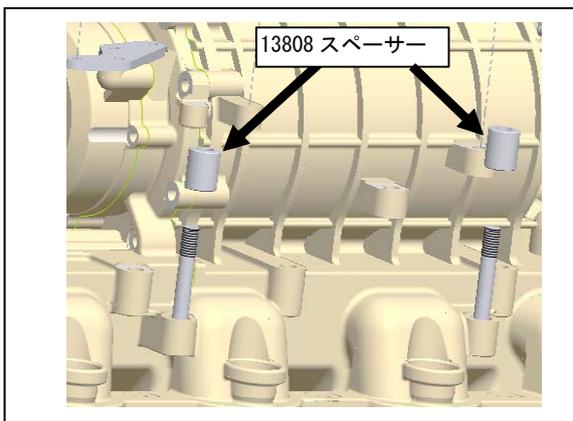
⇒ **締付けトルク 18N.m(184Kgf.cm)**

- 2) 17182 アダプター, インテークマニホールドにインテークマニホールド ツウ ヘッドガスケット 17171-50030 を取り付け、シリンダーヘッドに取り付ける

⇒ **ガスケットがずれないようにシール剤などで取り付ける**

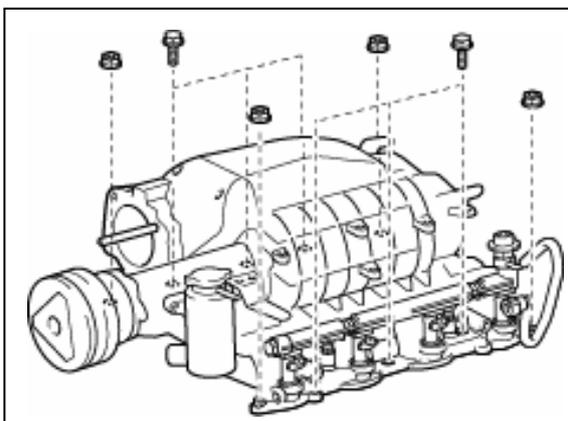
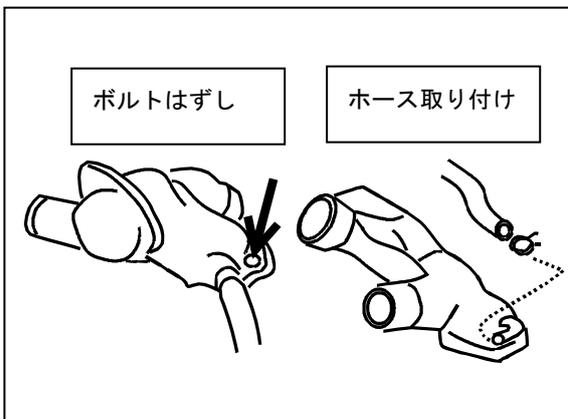
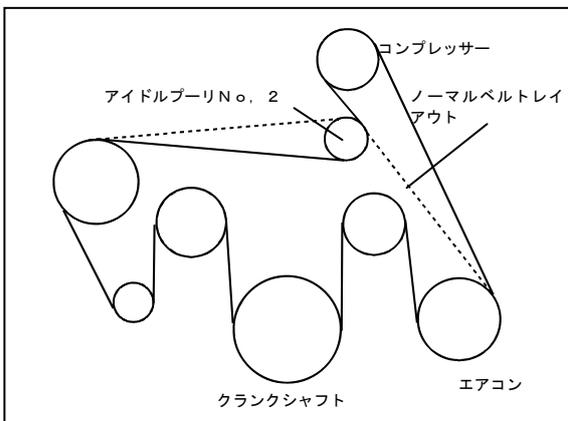
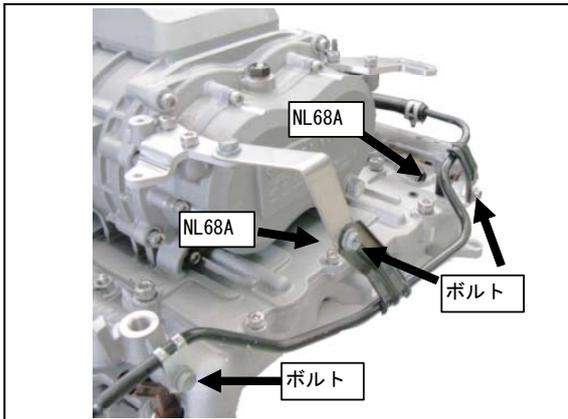
- 3) 17171 ガスケット, インテークマニホールドを取り付ける

⇒ **白ペイント側を上向きにする**



5, インジェクターデリバリーパイプ付け替え

- 1) 新品のインシュレータ(23291-41010) 8 個をインテークマニホールドに取り付ける
- 2) 13808 スペーサーデリバリーパイプ 2 個を 13610 コンプレッサー本体 RH 側スタッドボルト 2 個所に取り付ける
- 3) 新品の O リング(90301-07037)にガソリンを塗布して、フェルインジェクターASSY に取り付ける
- 4) フェルインジェクターASSY を、フェルデリバリーパイプおよびフェルデリバリーパイプ No.2 に取り付ける
- 5) フェルデリバリーパイプ RH をインジェクターと一緒にスタッドボルトに純正ナット 2 個で取り付ける
⇒ **締め付けトルク 21N.m(214Kgf.cm)**
- 6) 23280 フェルプレッシャーレギュレーターを純正のボルト 2 本で取り付ける
⇒ **締め付けトルク 7.5N.m(76Kgf.cm)**
⇒ **O リングにラバーグリス等を塗布する**
- 7) 13808 スペーサーデリバリーパイプ 1 個を 13610 コンプレッサー本体 LH 側スタッドボルトリヤ側に取り付ける
- 8) 13809 スペーサー LH デリバリーパイプを 13610 コンプレッサー本体 LH 側スタッドボルトフロント側に取り付ける
→ナットは純正を再使用する
- 9) フェルデリバリーパイプ LH をインジェクターと一緒にスタッドボルトにナット 1 個と BC820 ボルト 1 個で取り付ける
→ナットは純正を再使用する
⇒ **締め付けトルク 21N.m(214Kgf.cm)**
⇒ **インジェクターが回転することを確認する滑らかに回転しない場合は、O リングのかみ込みが考えられるため、インジェクターを取りはずして再度 O リングを新品に交換して作業を行う**
- 10) 23801 フェルライン No. 1 に 90210 コルゲートチューブを取り付け、デリバリーパイプ R/L に取り付ける
→ユニオンボルトは純正を再使用する
→ガスケット (90430-14008) は新品を使用する
⇒ **ユニオンボルト締め付けトルク 31N.m(398Kgf.cm)**
- 11) 13750 フェルパイプブラケット No. 1 をコンプレッサー本体のボルトをはずして仮止めする
- 12) 13884 フェルパイプブラケット No. 2 を BF612 ボルトで図の位置に仮止めする



13) フuelパイプ No,3 を純正ボルト 3 個と NL68A ナット 2 個で取り付ける

⇒ 締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)

14) フuelパイプブラケット No,1 を本締めする

⇒ 締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)

15) フuelパイプブラケット No,2 を本締めする

⇒ 締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)

16) パルセーションダンパーを取り付ける

⇒ パルセーションダンパー締付トルク 39N.m(398Kgf.cm)

⇒ パルセーションダンパーガスケットは新品に交換する (90430-12026 1個)

⇒ ガソリン漏れの原因となるためフuelパイプを無理に曲げないこと

6, Vベルト交換

1) 16361 Vベルトを左図の実線のように取り付ける

→ ベルトは仮に取り付ける

7, コンプレッサー取り付け

1) コンプレッサー取り付けの前に、16263 ウォーターバイパスホース No, 2 (700mm) をウォーターバイパスジョイント側 (エンジン側) に取り付けておく (純正バンド再使用)

2) ホースに 9011B プロテクター(760mm)を取り付ける

→ コンプレッサー装着後は作業性が悪い

3) ウォーターインレットハウジングのボルト 1 本をはずしておく (左図参照)

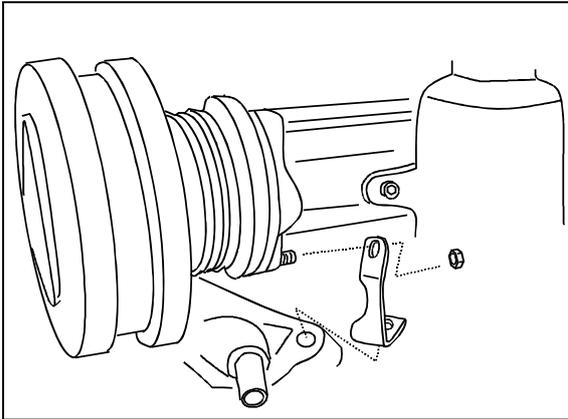
4) BC860 ボルト 6 本および純正ナット 4 個を使用してコンプレッサーを取り付ける

⇒ コンプレッサーを垂直に均等に入れること。エンジンヘッドに確実に接地していることを確認してボルトナットを取り付ける

⇒ 締付けトルク 18N-m(184Kgf-cm)

⇒ ウォーターバイパスパイプ・ホースと干渉しないこと

⇒ フuelラインを、ハーネスの間を通すこと



5) BF825 ボルトと、NL68A ロックナットで 13751 ノーズステーを取り付ける (左図参照)

⇒ **ロックナット締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**

⇒ **ハウジング締付けトルク 19N.m(194Kgf.cm)**

6) Vベルトを取り付ける

→ テンショナーを押下げてベルトを取り付ける

⇒ **プリーセットボルトは左ねじを使用しているため右回転させるとプリーセットボルトがゆるむ**

⇒ **ベルトの溝が各プリーにきちんと入っていることを確認する**

⇒ **ベルトと近いエンジンハーネスをベルトから離れるように取り付ける**

8, フuelパイプNo. 2 接続

1) [1] - 1 1 ではずしたフuelチューブを'カチッ'と音がするまで差し込む

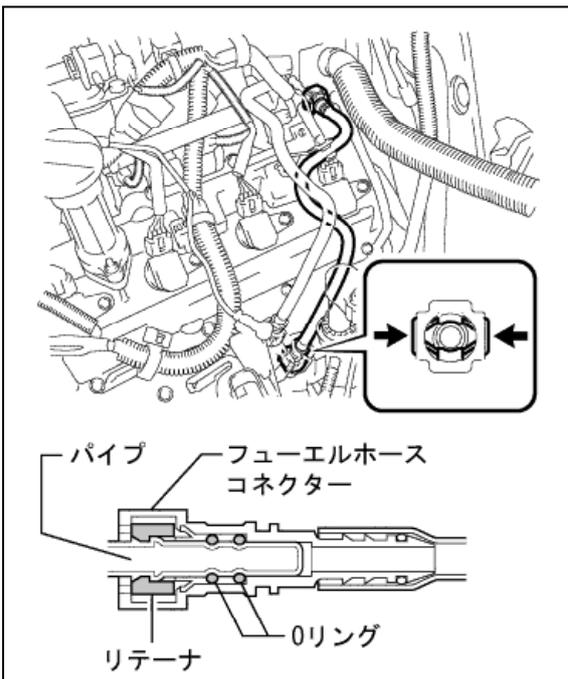
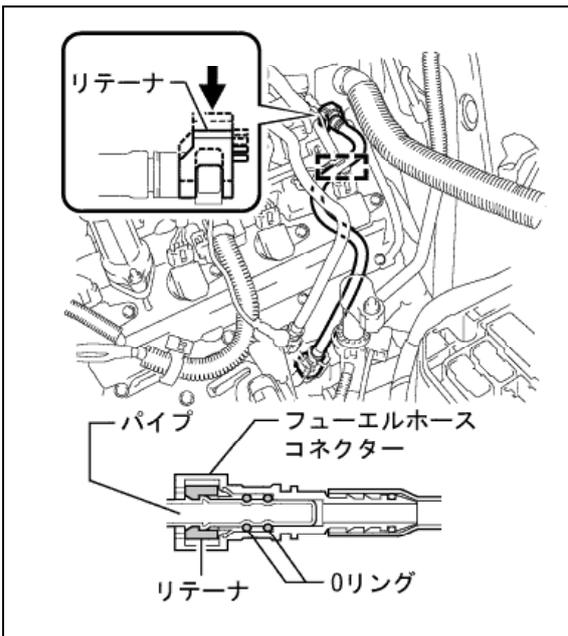
2) リテーナを下に下げてロックする

3) フuelホースをフuelホースクランプに取り付ける

⇒ **作業前にパイプおよびコネクタの接続部に異物の付着や傷がないことを確認する**

⇒ **接続後コネクタを引っ張り確実に組み付いていることを確認する**

4) フuelホースクランプを取り付ける



[3] インタークーラーラジエター、 ウォーターポンプ、ホース取り付け

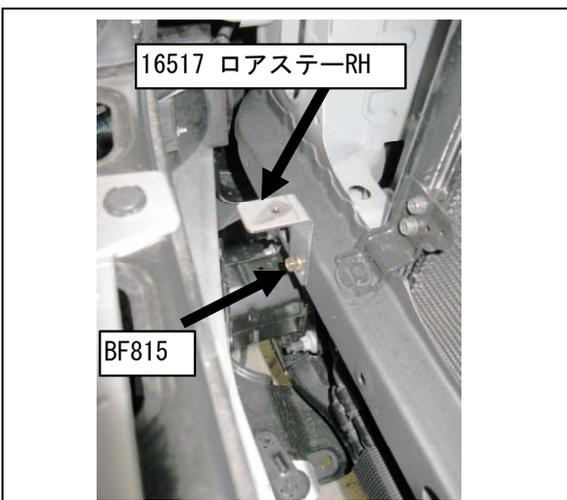
1, ラジエターグリルサイドエアガイドRH 穴開け

- 1) 前述 [1] - 2 5 ではずしたラジエターグリルサイドエアガイドRHに型紙（巻末参照）を当て、中側を切り抜く
- 2) 切り抜いたラジエターグリルサイドエアガイドRHを、クリップ4個で取り付ける



- 3) 16517 インタークーラーラジエターロアステーRHをBF815 ボルトで取り付ける

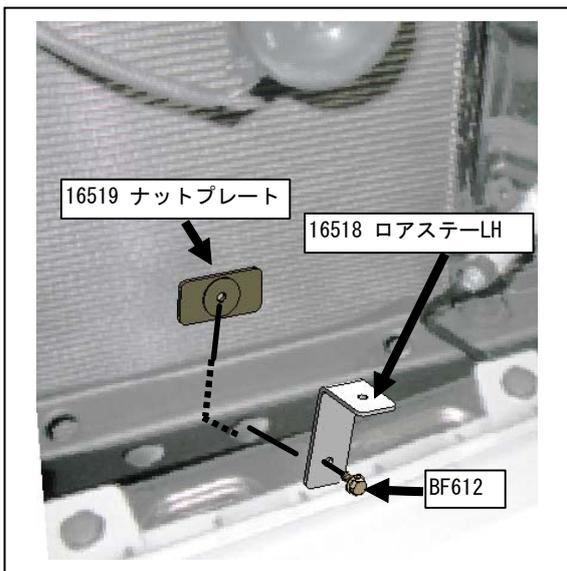
⇒ 締付けトルク 21N.m(210Kgf.cm)

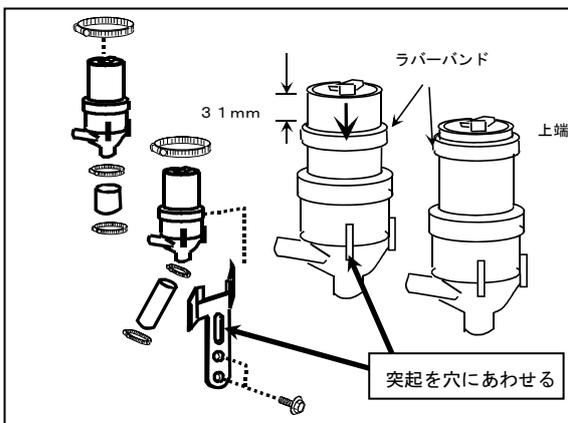


- 4) 16518 インタークーラーラジエターロアステーLHをBF612 ボルトと 16519 ナットプレートで取り付ける

→ナットプレートをメンバーの裏側から取り付ける（○凸を穴にあわせる）

⇒ 締付けトルク 10N.m(102Kgf.cm)



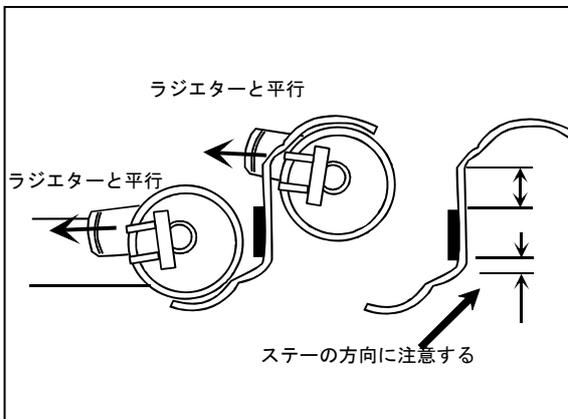


2, ラジエータートレイ取り付け

- 1) 16511 ラジエータートレイをラジエーターロアステー R/Lに取り付ける
→穴位置は上図を参照
 - 2) トレーを BS615 サラボルトと NL68A ナット各 2個で取り付ける
- ⇒ **締付けトルク 10N.m(102Kgf.cm)**
→トレーの折りの高い方を前方にして取り付ける

3, ウォーターポンプ取り付け

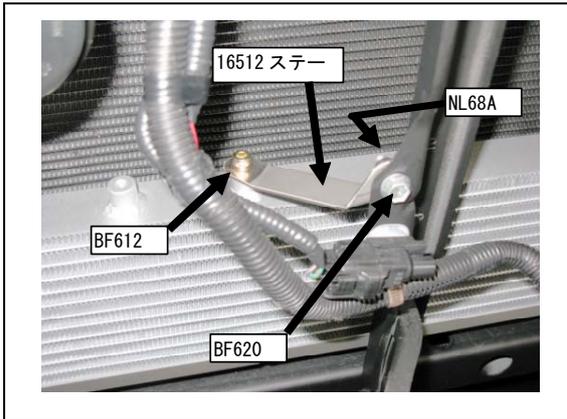
- 1) 16290 ウォーターポンプに 16551/16552 ホース および 16573 インレットホースバンド 4個を取り付ける (構成部品図参照)
 - 2) 16291 ウォーターポンプステーを BF612 ボルト 2本で 16510 ラジエーターに取り付ける
- ⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**
→ステーの方向に注意する (左下図参照)
- 3) ウォーターポンプを 16292 ウォーターポンプクランプバンドでステーに取り付ける
- ⇒ **バンドとハーネスやホースが干渉しないこと**
→ウォーターポンプについているラバーバンドの位置をクランプバンドの位置にあわせる
→ウォーターポンプアウトレットはラジエーターと平行に取り付ける
→ウォーターポンプの突起とステーの穴を合わせる



4, インタークーラーラジエーター取り付け

- 1) ラジエーターをトレーの上ののせ、16512 ステーをセンターブレースに BF620 ボルトと NL68A ナットで取り付ける





→センターブレース裏側の溶接ナットに
BF620 を取り付け、溶接ナットの後ろ側にス
テアを NL68A ナットで取り付ける

⇒ **締付けトルク 10N.m(102Kgf.cm)**
16512 ステアをラジエターに
BF612

ボルトで取り付ける

⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**

⇒ **ウォーターポンプとコンデンサーのすきまを確
保する**



5、 インタークーラーホース取り付け

1) 16554 インタークーラーアウトレットホース (太
い成型ホース) に 9013B メッシュプロテクター
を取付ける

→プロテクターの端をふくらませながらホー
スを挿入する

2) インタークーラーアウトレットホースを配管する
→エンジンルーム側からラジエターサポート
RH の穴を通し、インタークーラー用ラジエ
ターの RH パイプに差し込む

3) 16572 ホースバンドでホースをコンプレッサー
のリザーブタンク下部に取り付ける

4) 16572 ホースバンドでホースをラジエター側に
取り付ける

⇒ **ファンシュラウドの突起部などがホースに当た
らないように配管する**



5) 16553 インタークーラーインレットホース (細
いホース) 2本に 9012C メッシュプロテクター
を取付ける

6) インタークーラーインレットホースを配管する
→エンジンルーム側からラジエターサポート
RH の穴を通し、インタークーラーラジエタ
ーの上をはわせる

7) 16573 ホースバンドでホースをコンプレッサー
に取り付ける

8) 90464 ホースクランプを取り付ける (左上図参
照)

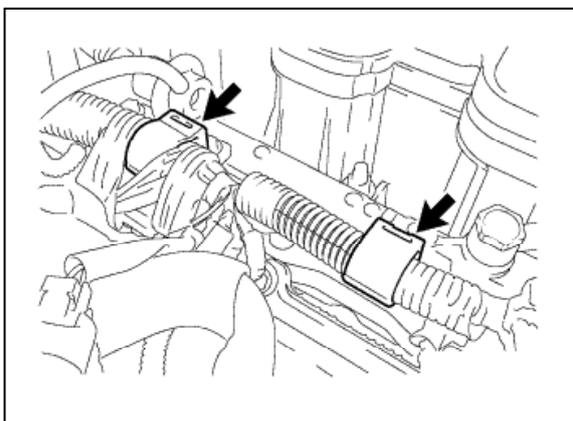
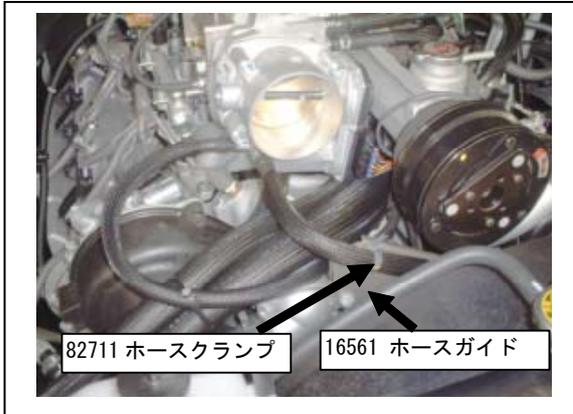
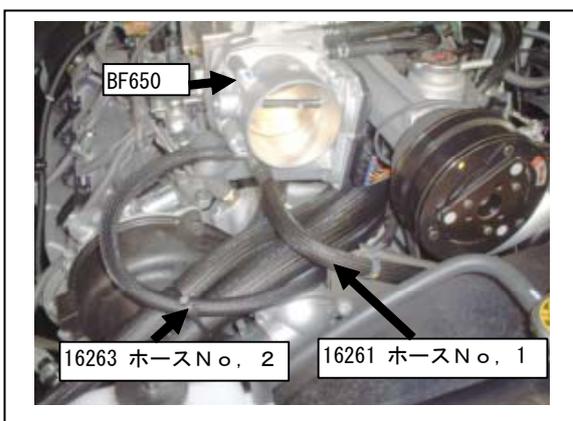
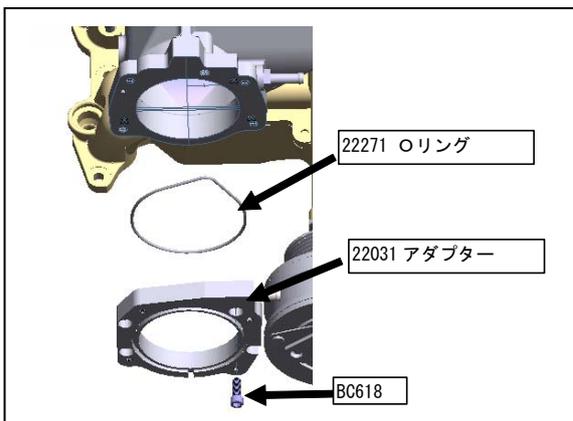
9) ホースバンド 16573 でホースをウォーターポン
プ2個に取り付ける

→どちらのポンプに取り付けても良い

→バンドは止めずにおく (エア抜きの際ホース
をあけるため)

10) 90464 ホースクランプを取り付ける (左図参照)





[4] 補機類取り付け

1, スロットルバルブ取り付け

- 1) 22031 アダプタースロットルボディに 22271 Oリングを取り付け、アダプターを BC618 ボルト 4本でコンプレッサーに取り付ける

⇒ **締付けトルク 18N・m(184Kgf・cm)**

- 2) スロットル取り付け前に、スロットルバルブ下側パイプ RH 側に、前述 [2] - 7-1) で取り付けた 16263 ホースNo. 2 (内径 8 L=700mm) を取り付ける (バンドは純正を再使用する)
- 3) スロットルバルブ下側パイプ前側に 16261 ホースNo. 1 (内径 8 L=430mm) を取付ける (バンドは純正を再使用する)
- 4) ホースに 9011C プロテクター(460mm)を取り付ける
→スロットルバルブ取り付け後は作業性が悪い
- 5) はずしたボルト 3本と BF650 ボルトでスロットルバルブをコンプレッサーに取り付ける

⇒ **締付けトルク 14N・m(143Kgf・cm)**

- ガスケットは新品を使用する 22271-50050
- 6) 16261 ホースNo. 1 をウォーターパイプ 3 ジョイント部 (オイルクーラーパイプ) に取り付ける (バンドは純正を再使用する)

2, ホースガイド取り付け

- 1) 16561 インタークーラーホースガイドをサーモスタットケースボルトに共締めする
→前述 [2] - 7-1) でははずしたボルトを再使用する

⇒ **締付けトルク 19N・m(194Kgf・cm)**

- 2) 16261 ホースNo. 1 を 82711 バンド2個でホースガイドに取り付ける

⇒ **ボディおよび部品と無理な接触がないこと**

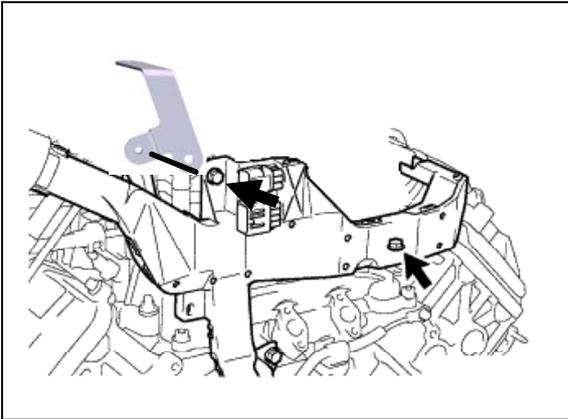
⇒ **Vベルトとの干渉がないこと**

- 16263 ホースNo. 2 およびインタークーラー用ホース 3本はガイドの後ろ側を通す

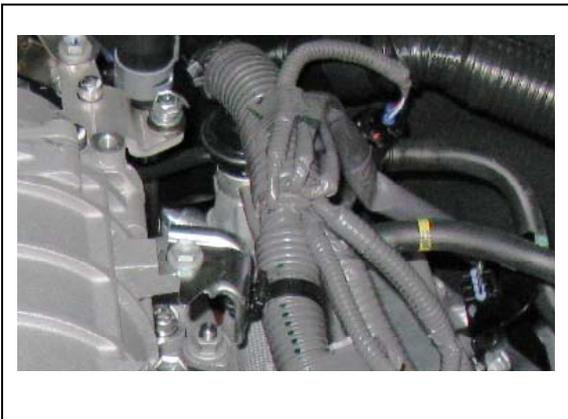
3, エンジンワイヤーハーネス取り付け

- 1) エンジンワイヤーハーネスの RH 側ハーネスクランプ 2箇所をフェルデリバリパイプのブラケットに取り付ける

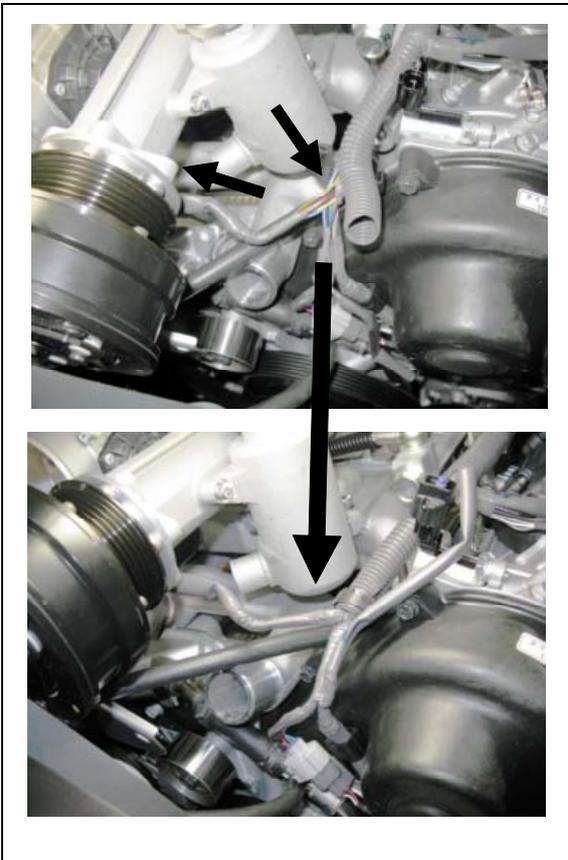
- 2) エンジンワイヤーハーネス後ろ側のボルト2本を取り付ける
→ 1本は 13884 ブラケットに取り付ける
- ⇒ **締付けトルク 8.2N.m(83Kgf.cm)**



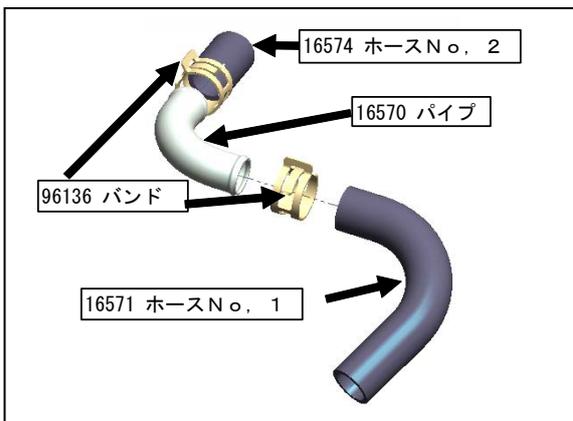
- 3) 前述 [1] - 16-4)ではずしたハーネスブラケットおよびボルトをコンプレッサーに取り付け、ハーネスを取り付ける
→ 左図参照
- 4) エンジンフックにハーネスを取り付ける



- 5) コルゲートチューブのテープをはがし、スロットルポジションセンサーまでハーネスを延長する



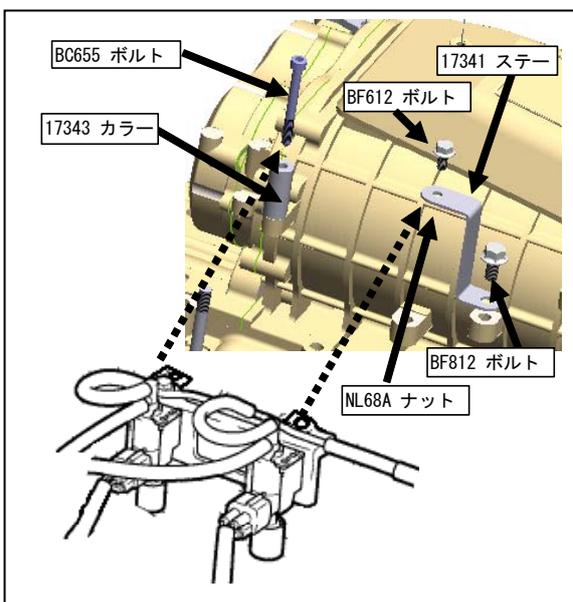
- 6) コルゲートチューブをカットし、ハーネスをテーピングする
- 7) スロットルポジションセンサーのコネクターを取り付ける



4, ラジエターアッパーホース取り付け

- 1) 16571 ラジエターアッパーホースNO, 1、16574 ホースNo, 2、16570 ラジエターアッパーパイプを純正バンド2個と 96136 バンド2個で取り付ける

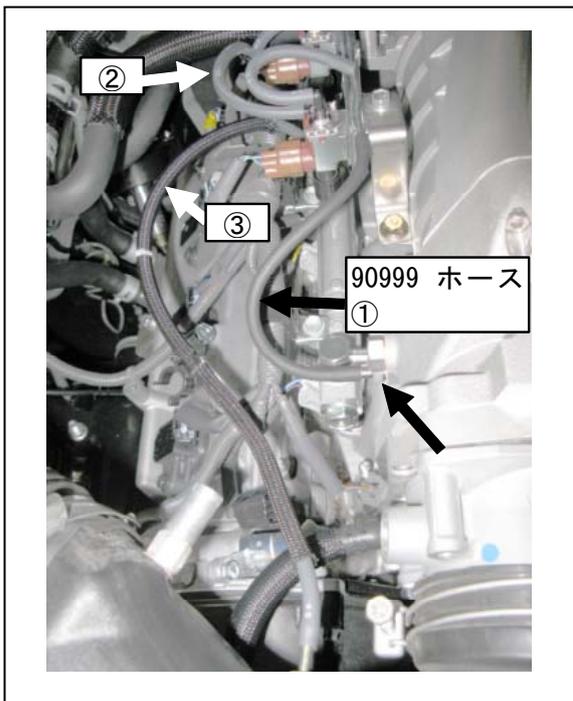
⇒ Vベルトとのすきまを10 mm 以上確保する
(ない場合はホースの回転方向を変えて調整する)



5, エアインジェクター用VSV取り付け

- 1) エアインジェクター用VSV ASSYを17343 カラー、BC655 ボルト、および17341 ステア、BF812 ボルト、BF612 ボルト、NL68A ナットで取り付ける (左図参照)
- 2) コネクターをVSVに取り付ける

- 3) 90999 バキュームホースを取り付ける (左図①)
→コンプレッサーのバキュームパイプに取り付ける
- 4) バキュームホースをバルブに取り付ける (左図②)
- 5) プレッシャーレギュレーターに前述[1]—13—1)ではずした純正バキュームホース(メッシュ付き)を取り付ける (左図③)





6, キャニスター用VSV取り付け

- 1) 前述 [1] - 16 ではずしたVSVをコンプレッサーに取り付け、コネクターとホースを取り付ける

→ホースはコンプレッサーの左図の位置に取り付ける (バンドは純正を再使用する)

→ボルトは純正を再使用する

⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**

⇒ **パイプ抜け止めの2段目を超えるまでホースを差し込む。バンドは2段目より奥で止める**



7, ブローパイプLH取り付け

- 1) 12262 ブローパイプ (内径 10 L=400) に 9011D メッシュプロテクターを取り付け、22031 スロットルアダプターのパイプとエンジンヘッドカバーに取り付ける

→バンドは純正を再使用する

8, ウォーターバイパスパイプ取り付け

- 1) 16280 ブラケットを BF612 ボルトでコンプレッサーR r ステーに取り付ける

→長穴を後端にして中央の穴にボルトを取り付ける (前端の穴に純正のVバンクカバープレート用のボルトを仮止めておく)

⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**

- 2) ヒーターウォーターホースインレットとウォーターバイパスホースNo. 3に 16278 ウォーターバイパスパイプNo. 1を取り付ける

→バンドは純正を再使用する

- 3) 16280 ブラケットに 82711 バンドでパイプを固定する

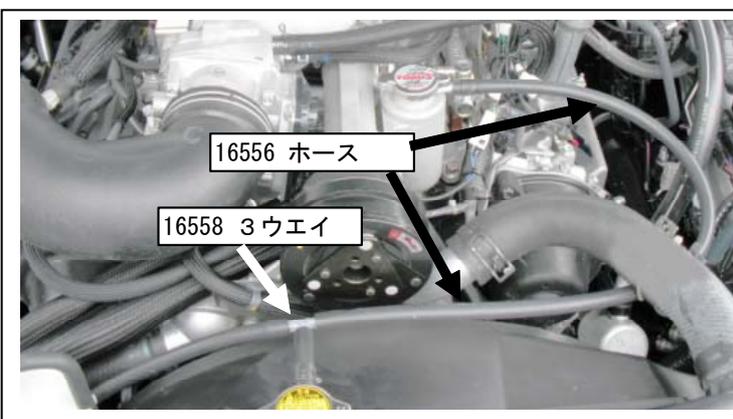
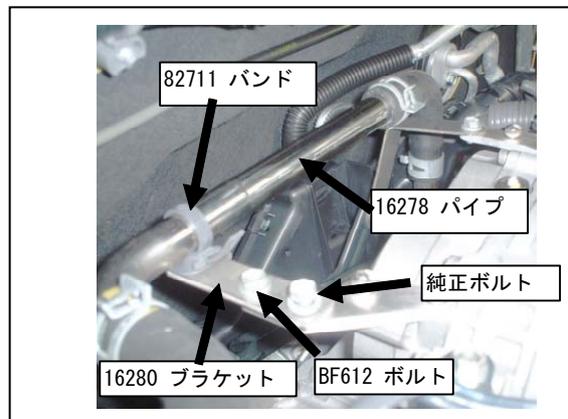
⇒ **ボディと10mm以上のすきまがあること**

9, リザーブタンクホース取り付け

- 1) 16556 リザーブタンクホース (内径 8 L=755) を、16557 バンドを使用して、ヘッダータンクに取り付ける

- 2) リザーブタンクホースの反対側に 16558 スリーウェイを、16557 バンドを使用して取り付ける

- 3) 純正リザーブタンクのホースをカットし 16557 バンドを使用して3ウェイをつなぐ (左図参照)





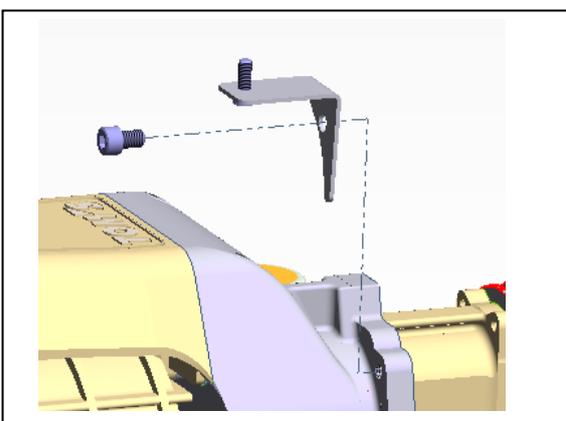
10, Vバンクカバーブラケット取り付け

- 1) はずしたバンクカバーブラケットNO. 2（後ろ側）を純正ボルトで取り付ける（左図参照）

⇒ **RH側は 16280 ブラケットの上に純正ボルトで共締めする**

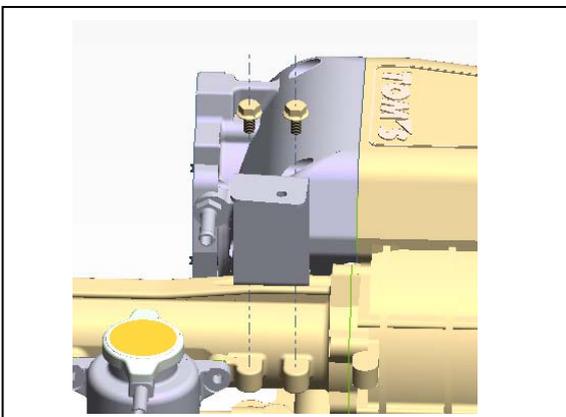
⇒ **LH側のブラケットとコンプレッサーステーの間に WP613 ワッシャーを取り付ける**

⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**



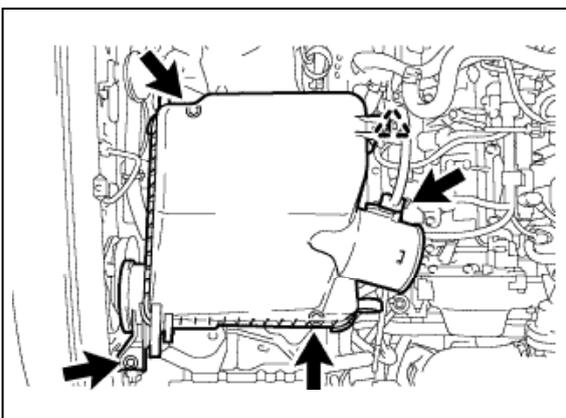
- 2) 11255 エンジンカバーステーRHを BC812 ボルトで取り付ける

⇒ **締付けトルク 18N-m(184Kgf.cm)**



- 3) 11256 エンジンカバーステーLHを BF612 ボルト2本で取り付ける

⇒ **締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)**



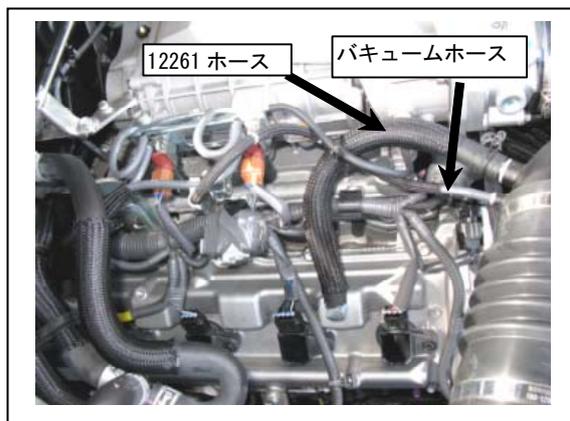
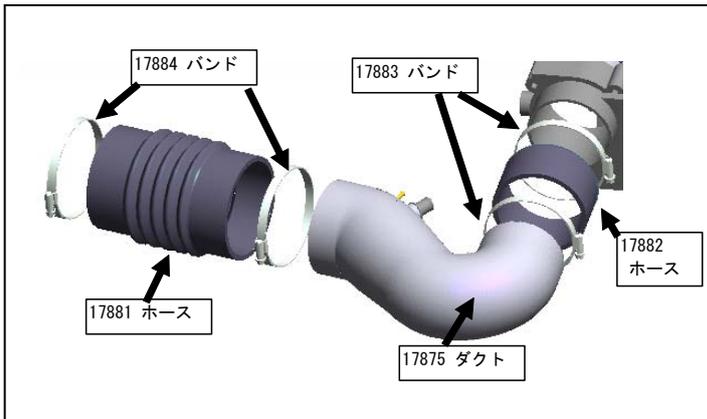
11, エアクリーナーケース取り付け

- 1) ボルト3本で、エアクリーナー ASSY を取り付ける

⇒ **締付けトルク 5.0N.m(51Kgf.cm)**

- 2) エアフローメータのコンネクターおよびクランプを接続する

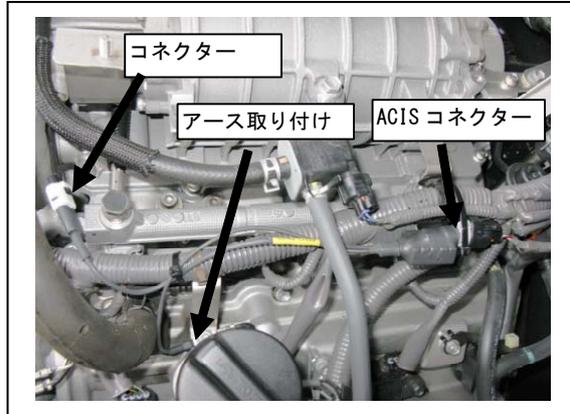
- 3) 17881 エアインレットホース、
17875 エアインレットダクト、
17882 ダクトホースを 17884 クラ
ンプ、17883 クランプを使用して取
り付ける (左図参照)



- 4) 12261 ブローバイホース (内径 13 L=330) に
9012D メッシュプロテクターを取り付ける
5) 純正ブローバイホースバンドを使用して 12261
ホースを取り付ける
6) プレッシャーレギュレーターのバキュームホース
をインテークダクトに取り付ける

1 2、 マグネットクラッチハーネス取り付け

- 1) 82217 マグネットクラッチハーネスをACIS
コネクタとマグネットクラッチコネクタに
取り付ける
2) アースを図の位置のアース線と共締めする
→余ったハーネスはテーピングする



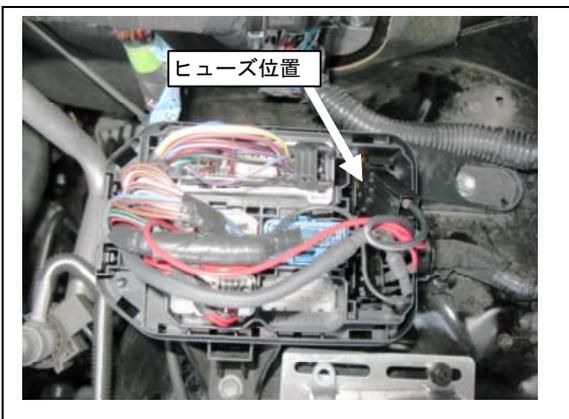
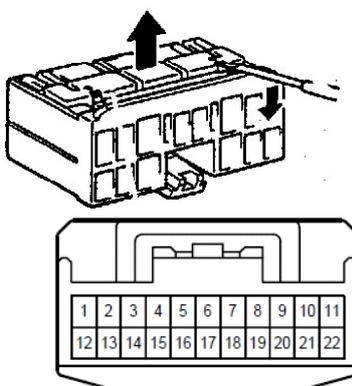
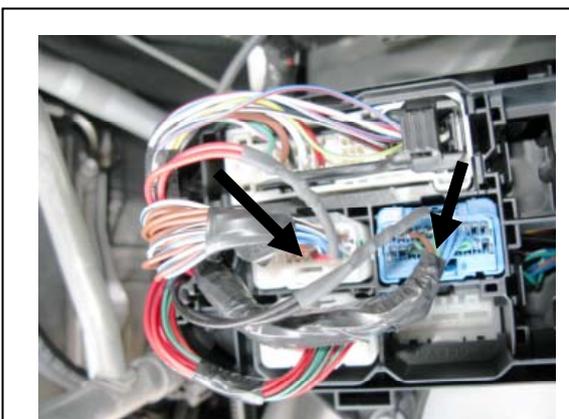
1 3、 ウォーターポンプハーネス取り付け

- 1) 16290 ウォーターポンプ2個に 82116 ウォータ
ーポンプハーネスを取り付ける
2) ヘッドランプ横のすき間からハーネスをエンジ
ンルーム内へ引き込む
3) 左図の黄色線のようにハーネスをはわせる
4) リレーボックスのカバーをはずす





- 5) リレーボックスに入るハーネスのタイラップをニッパーなどで切る
- 6) リレーボックスに入るハーネスを上方に抜いてはずし、ポンプハーネスを一緒にする
- 7) ターミナルを図の位置に差し込む
 - 青コネクターをはずし、コネクター図# 2 2の位置に黒リード線を取り付ける (コネクター図はハーネス側から見た図)
 - 白コネクターをはずし、コネクター図# 1 ~ 5の位置の空いた個所に赤リード線を取り付ける (コネクター図はハーネス側から見た図)



- コネクターのロックを解除してから差し込む
- 8) ヒューズ2個をボックスの空いた部分に押し入れ、付属 9304A タイラップでハーネスを取り付ける
- ⇒ **ボックスのふたを閉めてみて無理な力をかけないで閉まるようにヒューズの位置などを調整する**

1 4、 ラジエターグリル取り付け

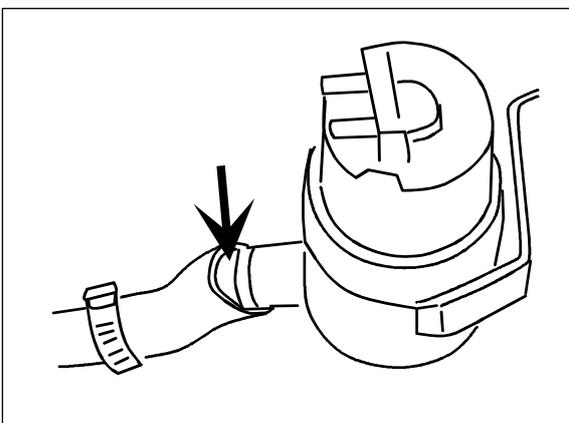
- 1) スクリューを3本と、クリップ2箇所でラジエターグリルを取り付ける

1 5、 エンジンECU取り付け

- 1) TEC IIを取り付ける

1 6、 インタークーラーウォーター注入

- 1) ヘッダータンクから冷却水 (L L C 5 0 %) を入れる
- 2) ウォーターポンプ側のアウトレットホースの上側を少しはずしてエアを抜きホースを戻す
- ⇒ **冷却水が出てきてエアがない状態まで冷却水を流す**
- ⇒ **ポンプ2個ともエア抜きする (片側ずつエア抜きすること)**



- ⇒ この位置にエアが残るとポンプの「カラ打ち」が発生し、ポンプが異音の発生やヒートしたり水が回らない場合があるため十分エアを抜く
 - 3) イグニッションをONにして、ウォーターポンプが回転していることを確認する
- ⇒ **音および感触で確認する**
 - 4) ウォーターポンプのコネクターを片側ずつ取り付け、それぞれでエア抜きをする
- ⇒ **ヘッダータンクの泡が完全になくなるまで片側ずつエア抜きをする**
- ⇒ **タンクの冷却水が動いていることを確認する**
 - 5) ヘッダータンクいっぱいまで補充する
- ⇒ **キャップテスターを使用して冷却水の漏れを点検する（満水にした状態で 137kPa（1.4 K g/cm²）の圧力をかける）**

17, 冷却水注入

- 1) エンジン冷却水を入れ、エア抜きをする

18, 燃料コーションラベル・ベルトコーションラベル貼り付け

- 1) 燃料コーションラベルをフューエルフィルターオープングリッド（給油ロリッド裏面）に貼り付ける
- ⇒ **レギュラーガソリンを入れた場合はエンジンが破損する可能性が高いため、必ず貼り付けること**
- 2) ベルトコーションラベルを純正ベルトラベルの上に貼り付ける

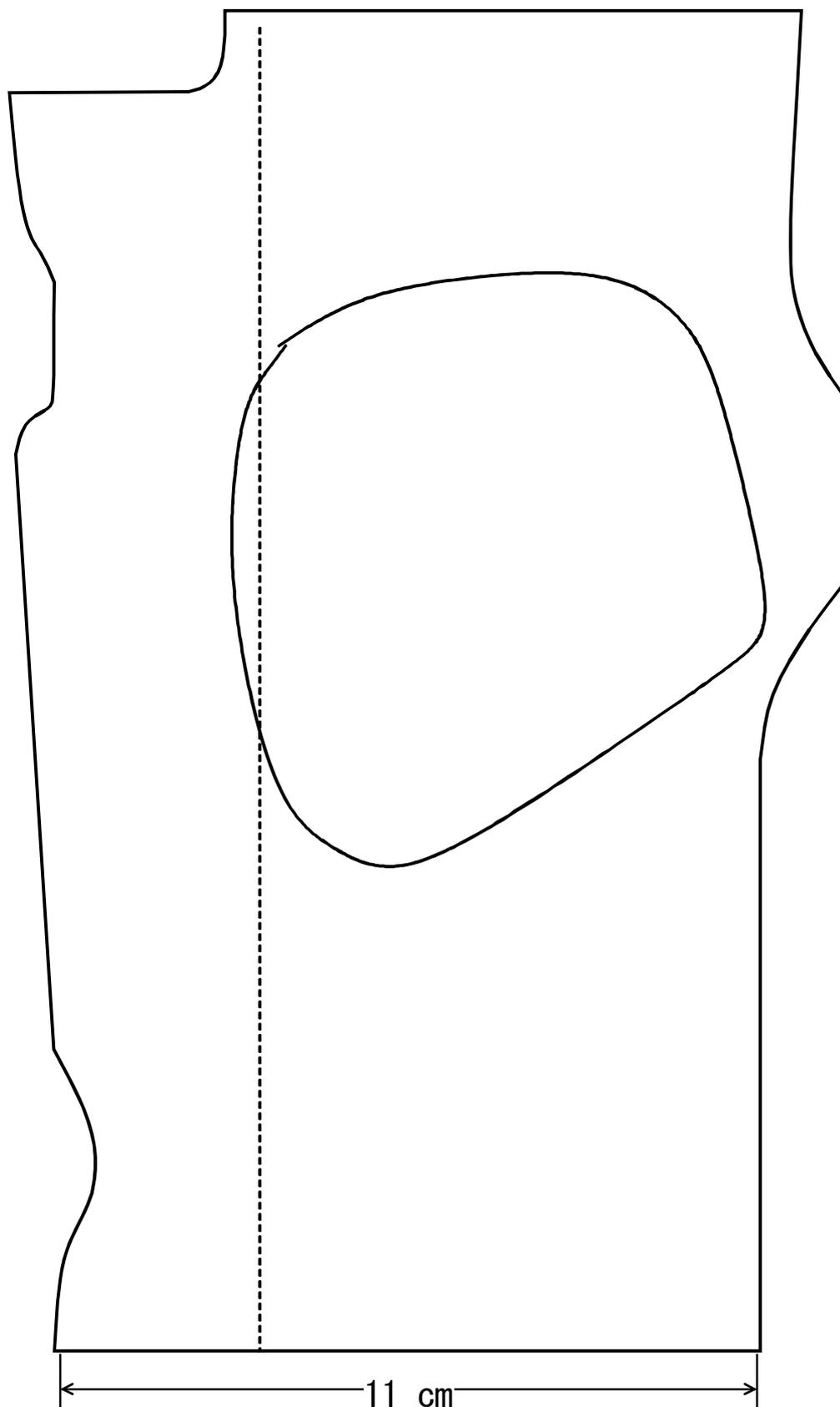
19, 純正部品取り付け

- 1) 以下の部品を取り外しと逆の手順で取り付ける
 - エンジンアンダーカバー No. 2
 - カウルトップベンチレーターカバー
 - フロントワイパーム
 - フロントフェンダ メインシール
 - ラジエター サポート シール UP
 - Vバンクカバー

20, 各部確認

- 1) エンジンを始動して、アイドルリングし、ベルトの干渉がないか確認する
- ⇒ **特にエンジン始動時や、レーシング時にベルトの干渉がないか確認する**
- 2) アイドルリングが安定しない場合は、エンジンECUの学習値が安定するまで、アイドル放置および走行する
- 3) コンプレッサーの過給は走行時の音（約2000rpmぐらいからキーン音）で確認する
 - レーシングで過給はしない
 - 冷間時は過給しない
- 4) 走行後ガソリン、冷却水の漏れ等を点検する

ラジエターグリルサイドエアガイド RH 用型紙



TOM'S

【発売元】株式会社 トムス
東京都世田谷区等々力6-13-10
TEL 03-3704-6191

Ver, 1.1 2009/04/10 発行